

第8次鷹栖町総合振興計画後期計画策定にかかる  
まちづくりに関するアンケート調査

調査結果報告書

令和6年8月

鷹栖町



# 目 次

I	調査概要 .....	1
II	調査結果 .....	2
	1 あなたご自身のことについて .....	2
	2 鷹栖町での暮らしについて.....	1 4
	3 普段の買い物について .....	3 7
	4 普段の交通手段について .....	4 1
	5 デジタル社会や情報端末について .....	4 8
	6 まちづくり活動への関わりについて.....	5 0
	7 あなたにとっての「豊かさ」について .....	5 1



# I 調査概要

## 1 調査の目的

令和2年度から令和11年度を計画期間としている「第8次鷹栖町総合振興計画」において、令和7年度からの後期期間の実施計画を策定するにあたり、鷹栖町の現状・課題、計画策定時からの町民意識等の変遷を把握し、町民の意向を計画に反映することを目的としてアンケート調査を実施した。

## 2 調査方法

### (1) 調査対象

令和6年6月1日現在で鷹栖町にお住まいの18歳以上74歳以下の方の中から、地区別、年代別、男女別の構成を考慮したうえで、無作為に1,000人を抽出して対象とした。

### (2) 調査方法

調査票を郵送で発送し、郵送またはオンラインによる回答とした。

### (3) 調査期間

令和6年6月28日（金）～令和6年7月24日（水）

## 3 回収状況

1,000件発送に対し、有効回答数は358件、回収率は35.8%であった。

## 4 過去に実施した調査との比較について

調査年度	調査名	発送数	回答数	回収率
平成20年度	第7次総合振興計画策定	500件	363件	72.6%
平成26年度	第7次総合振興計画後期計画策定	500件	292件	58.4%
平成30年度	第8次総合振興計画策定	1,000件	471件	47.1%

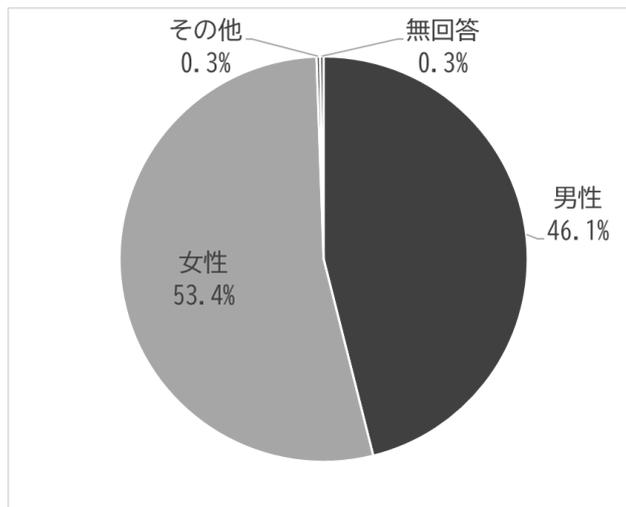
## Ⅱ 調査結果

### 1 あなたご自身のことについて

#### 問1 性別

性別については、「男性」が46.1%、「女性」が53.4%となっている。

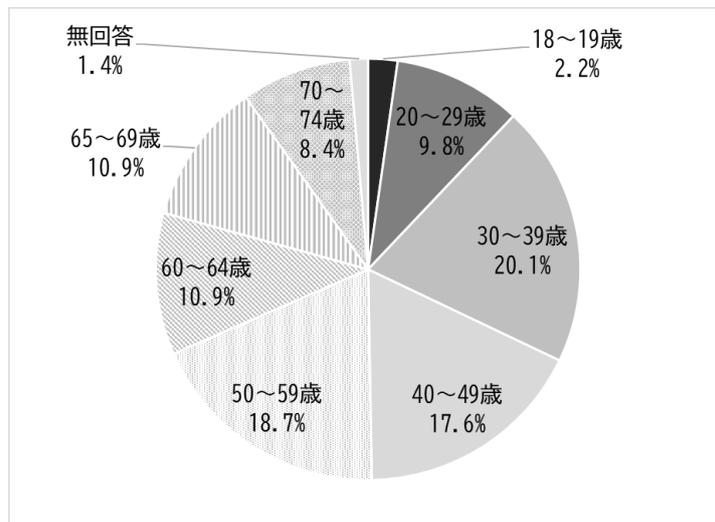
図表Ⅱ-1-1 性別 (N=358)



#### 問2 年齢

年齢については、「30～39歳」が20.1%と最も高く、次いで「50～59歳」が18.7%、「40～49歳」が17.6%となっている。

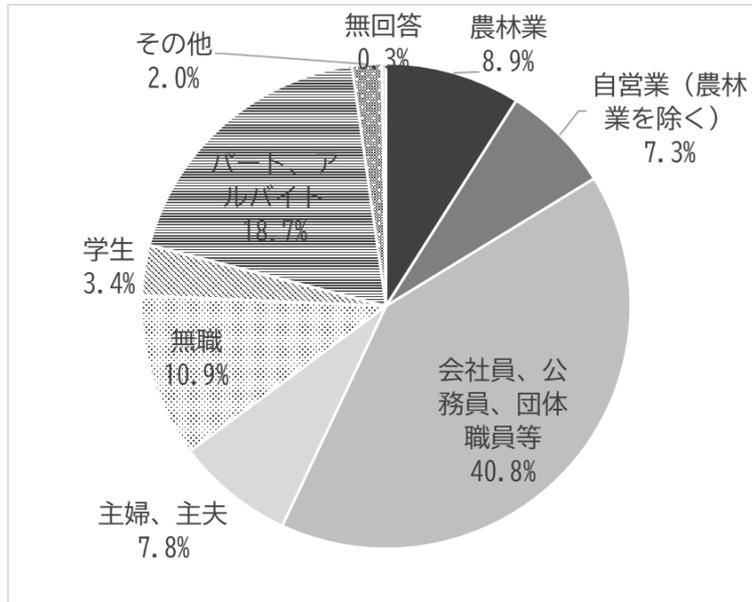
図表Ⅱ-1-2 年齢 (N=358)



### 問3 職業

職業については、「会社員、公務員、団体職員等」が40.8%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」が18.7%、「無職」が10.9%、「農林業」が8.9%となっている。

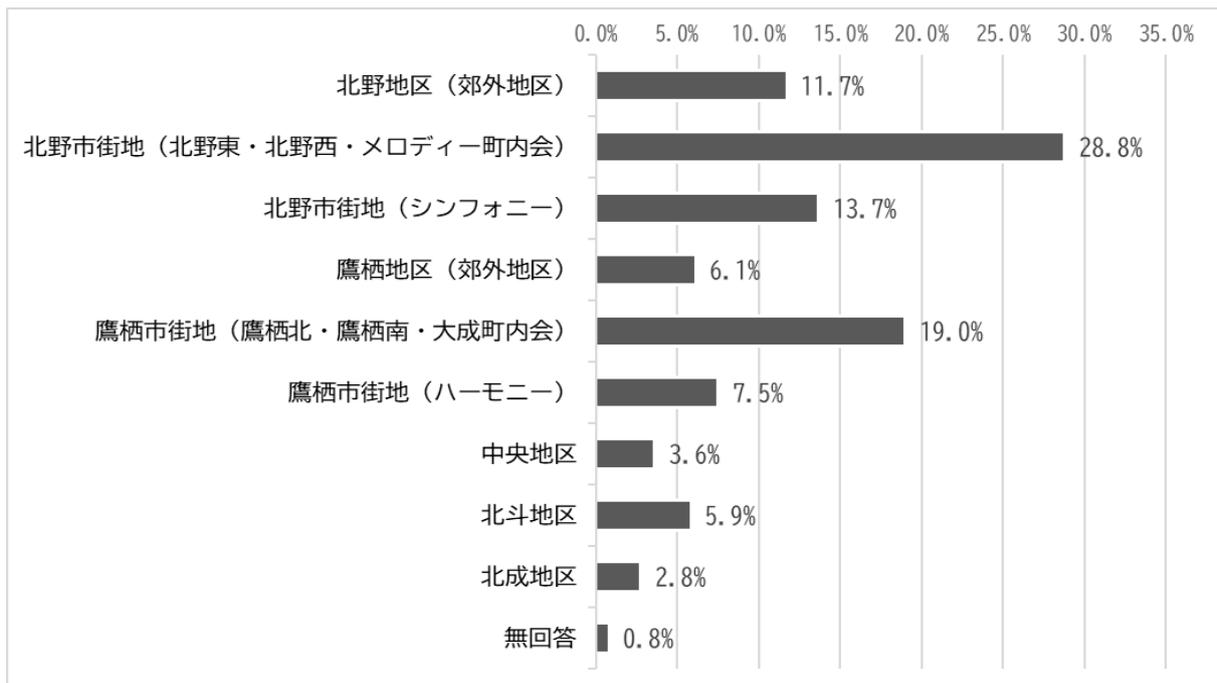
図表Ⅱ-1-3 職業 (N=358)



### 問4 居住地区

居住地区については、「北野市街地（北野東・北野西・メロディー町内会）」が28.8%と最も高く、次いで「鷹栖市街地（鷹栖北・鷹栖南・大成町内会）」が19.0%となっている。

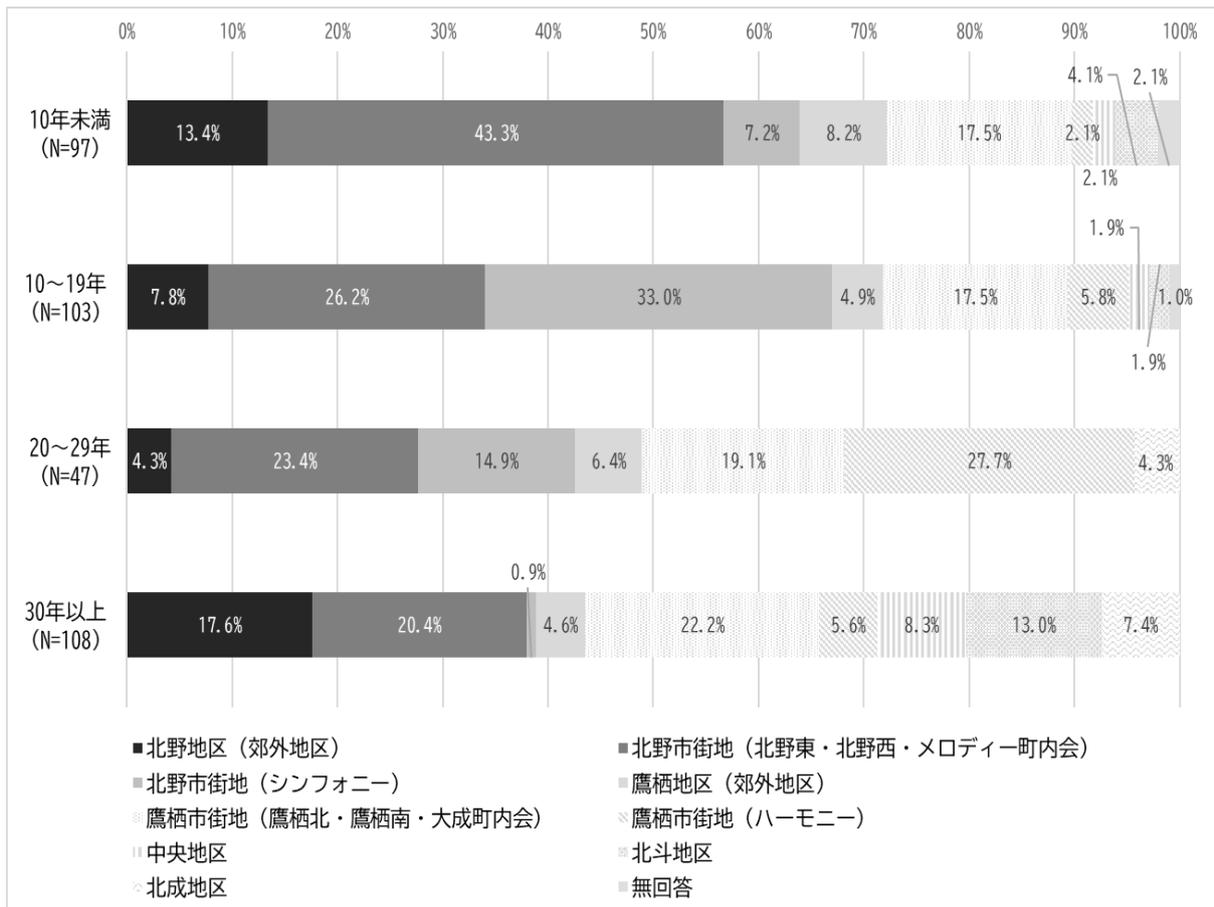
図表Ⅱ-1-4 居住地区 (N=358)



居住年数別（問5）にみると、「10年未満」では「北野市街地（北野東・北野西・メロディー町内会）」が43.3%、「10～19年」では「北野市街地（シンフォニー町内会）」33.0%と、他の項目と比べて割合が高くなっている。

また「20～29年」では「鷹栖市街地（ハーモニー町内会）」が27.7%と、他の項目と比べて割合が高くなっている。

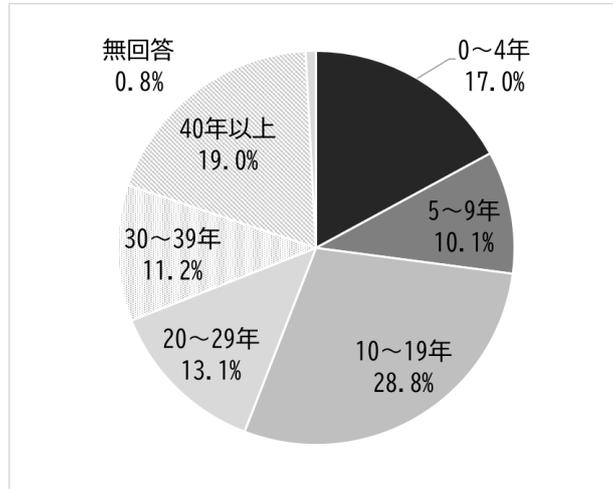
図表Ⅱ-1-5 居住地区（居住年数別）



### 問5 居住年数

居住年数については、「10～19年」が28.8%と最も高く、次いで「40年以上」が19.0%となっている。

図表Ⅱ-1-6 居住年数 (N=358)

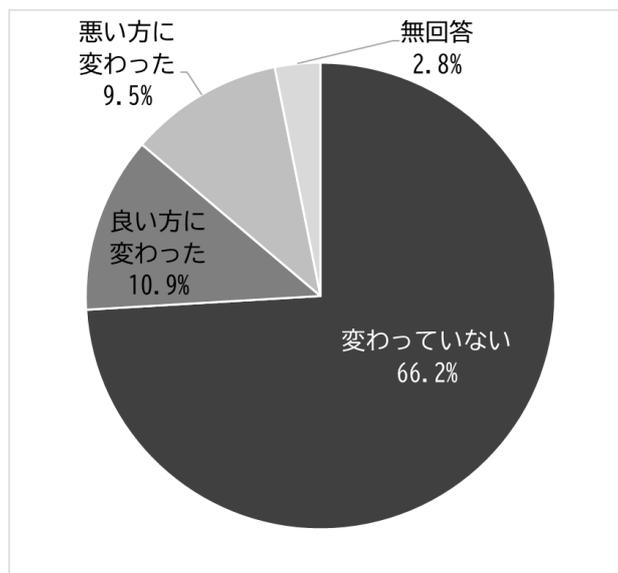


### 問6 最近5年間の鷹栖町の印象の変化

#### (1) 最近5年間の鷹栖町の印象の変化

問5で居住年数が5年以上と回答した294人に、最近5年間で鷹栖町に対する印象が変わったかをたずねたところ、「変わっていない」が66.2%と最も高く、次いで「良い方に変わった」が10.9%、「悪い方に変わった」が9.5%となっている。

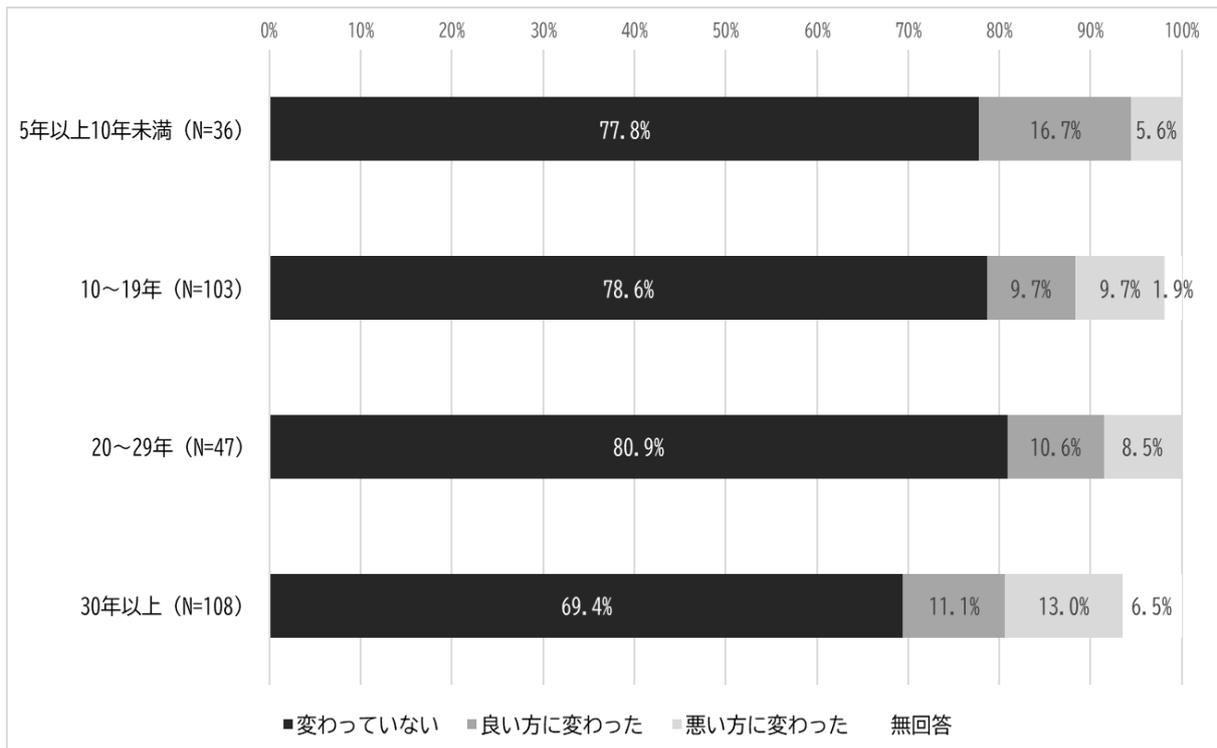
図表Ⅱ-1-7 最近5年間の鷹栖町の印象 (N=294)



居住年数別にみると、「5年以上10年未満」で「良い方に変わった」が16.7%と、他の項目と比べて割合が高くなっている。

「30年以上」では「悪い方に変わった」が13.0%と、他の項目と比べてやや割合が高くなっている。

図表Ⅱ-1-8 最近5年間の鷹栖町の印象（居住年数別）



## (2) 変わったと思う理由

変わったと思う理由について自由に記入してもらったところ、主な意見は次のようであった。意見については、基本目標に応じて区分化した。

### 【良い方に変わったと回答した方】

基本目標	主な意見
1. 人が輝くまち (教育・運動・文化・郷土など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・設備の充実、スポーツ振興など／30歳代, 女性</li> <li>・イベントが増え、楽しい町になってきた。／40歳代, 女性</li> <li>・図書館の充実／40歳代, 女性</li> <li>・色々なイベントが多くあり、楽しめている／20歳代, 男性</li> </ul>
2. 幸せな暮らしを実現するまち (子育て・福祉・健康づくりなど)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉／70～74歳, 女性</li> <li>・子育て環境が上の子の時より充実している（助産師との連携）／30歳代, 女性</li> <li>・住宅が増加した、福祉施設が増えた（すばる等）／65～69歳, 男性</li> <li>・子どもの医療費が18歳まで無料になった／50歳代, 女性</li> <li>・子どもにやさしいまち／30歳代, 女性</li> <li>・手当が手厚い／30歳代, 男性</li> <li>・イベント事や子育て手当も充実してきた／50歳代, 男性</li> <li>・保育園、小学校と発達支援センターが連携して対応しており、共働きで送迎等が出来ない為助かります。児童クラブも外で沢山体を動かせる為他の市町村の学童よりのびのび過ぎて子供らしく過ごせているのが有り難いです。／30歳代, 女性</li> </ul>
3. 幸せなしごとをつくるまち (農業・商工業・観光など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・起業したことで関係性が広がり、鷹栖の歴史や文化を学んだから／30歳代, 男性</li> <li>・若い方々が事業を始め活気が出てきたと思います。／60～64歳, 女性</li> </ul>
4. 幸せな環境を 持続するまち (都市機能・防災・インフラ・自然環境など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニが増えて便利になった／20歳代, 男性</li> <li>・コンビニやスーパーが増えた／65～69歳, 男性</li> <li>・北鷹栖団地が新築される／60～64歳, 男性</li> <li>・道路の除雪が素晴らしいです。／40歳代, 女性</li> </ul>
5. 幸せな交流があるまち (地域コミュニティ・広報戦略・移住定住・行財政運営など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・若い人が住みやすくなった／40歳代, 男性</li> <li>・町民の声を聴いてくれる／65～69歳, 女性</li> <li>・今の時代に合わせて町民が暮らしやすくなるよう工夫している／65～69歳, 女性</li> <li>・新しいことに挑戦している。若い人が活躍している。／50歳代, 男性</li> <li>・街の役場の人の対応が良いし、助成金もたくさんあるイメージがあります。／30歳代, 女性</li> <li>・町民との交流が深くなった。／60～64歳, 男性</li> <li>・移住者等、鷹栖町に集まる人の多様性（職種など）を感じたから／30歳代, 男性</li> <li>・パレットヒルズのイベントなどで町外から参加される人が増えたのではないかと感じる。／50歳代, 女性</li> <li>・LINEで鷹栖の情報が届くようになった／40歳代, 女性</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いろいろな面で頑張っているように思えます。／70～74歳, 女性</li> <li>・前向きに動くこと。／20歳代, 女性</li> </ul>

【悪い方に変わったと回答した方】

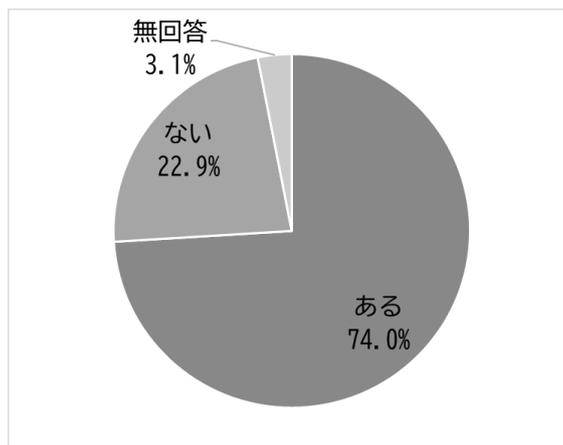
基本目標	主な意見
1. 人が輝くまち (教育・運動・文化・郷土など)	・パレットヒルズで開催されるイベントばかりであまりいい印象がない。またジョギングフェスティバルなどもっと面白みのある事に力を入れてほしい。／40歳代, 男性
2. 幸せな暮らしを実現するまち (子育て・福祉・健康づくりなど)	・子どもも減り活気がない／50歳代, 女性 ・子どもたちの声が聞こえない／70～74歳, 女性 ・老人向けの政策中心で子育て世帯をないがしろにしていると思う／40歳代, 女性
3. 幸せなしごとをつくるまち (農業・商工業・観光など)	・人口が減、職場の少なさ／65～69歳, 男性 ・保育園の職員の待遇（非常勤）がかわらない／40歳代, 男性
4. 幸せな環境を持続するまち (都市機能・防災・インフラ・自然環境など)	・生活するにあたって不便なことがある。／50歳代, 女性 ・お店がなくなった／65～69歳, 女性 ・除雪サービスの低下／40歳代, 男性 ・除雪が年々悪くなっている／60～64歳, 女性 ・太陽光パネルの推進は廃棄物処理のできない毒性物質がある／60～64歳, 男性 ・買い物が不便／60～64歳, 女性 ・通勤にバスを使用しているが、バスの便が悪い。／60～64歳, 男性
5. 幸せな交流があるまち (地域コミュニティ・広報戦略・移住定住・行財政運営など)	・近所の人引っ越したので夜が不安（すぐ近くに住んでいる人がいない）／50歳代, 女性 ・市街地には力を入れているが北斗・北成にはあまり力を入れない気がする。／50歳代, 男性 ・閉鎖的なところが開放的になったが、ご近所との人間関係は希薄になった／60～64歳, 女性 ・高齢化が進み若い人の流出が増えているから／60～64歳, 女性
その他	・町も役場も活気がない／50歳代, 女性 ・いろんなチャレンジ良いが、重複的なポジションが多い／65～69歳, 女性 ・田舎のためほのぼの子育てできると思い移住したが、特有の閉塞感もあり苦笑いするしかない。／40歳代, 男性 ・東川、東神楽などとの差／30歳代, 男性

## 問7 鷹栖町外から引っ越してきた経験

### (1) 鷹栖町外から引っ越してきた経験

鷹栖町外から引っ越した経験があるかをたずねたところ、「ある」が74.0%、「ない」が22.9%となっている。

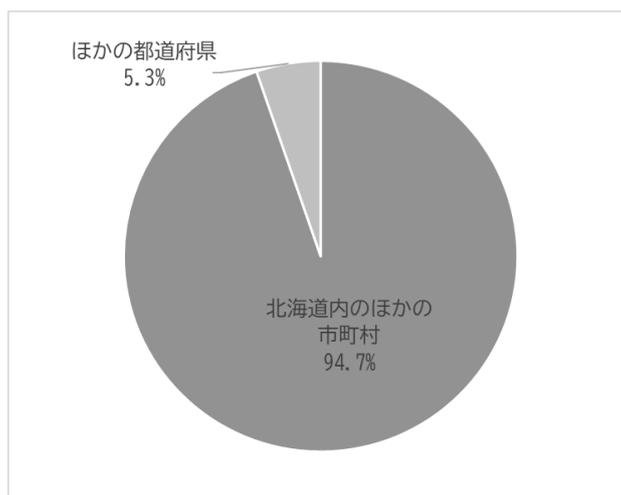
図表Ⅱ-1-9 鷹栖町外から引っ越してきた経験 (N=358)



### (2) 引っ越してくる前の住まい

鷹栖町外から引っ越した経験があると回答した265人に、引っ越す前の住まいをたずねたところ、「北海道内のほかの市町村」が94.7%、「ほかの都道府県」が5.3%となっている。

図表Ⅱ-1-10 引っ越してくる前の住まい (N=265)

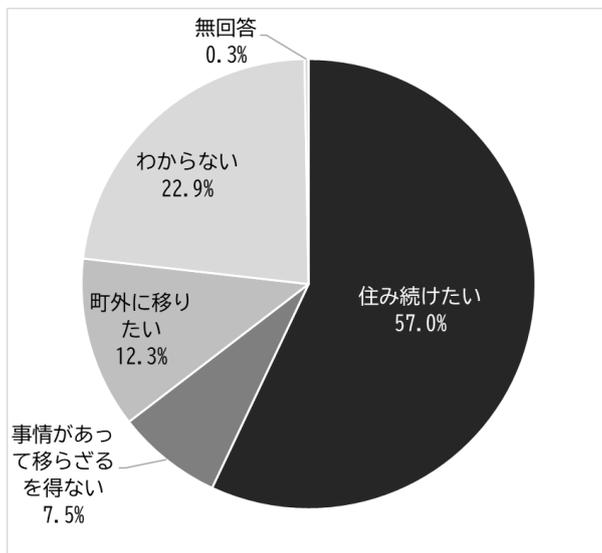


「北海道内のほかの市町村」と回答した265人に、具体的な市町村名を記載してもらったところ、旭川市の回答が8割を占めていた。

問8 将来の鷹栖町への居留意向

将来も鷹栖町に住み続けたいかをたずねたところ、「住み続けたい」が 57.0%、「わからない」が 22.9%、「住み続けたいが、事情があって移らざるを得ない」が 7.5%、「町外に移りたい」が 12.3%となっている。

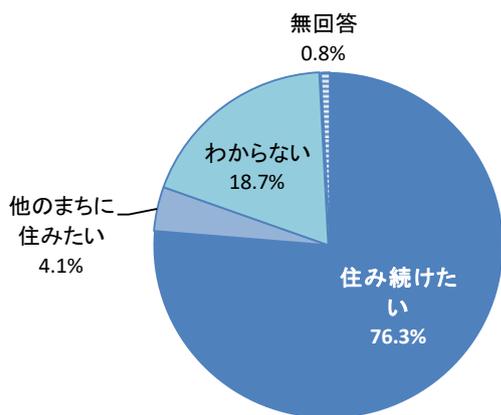
図表Ⅱ-1-11 将来の鷹栖町への居留意向 (N=358)



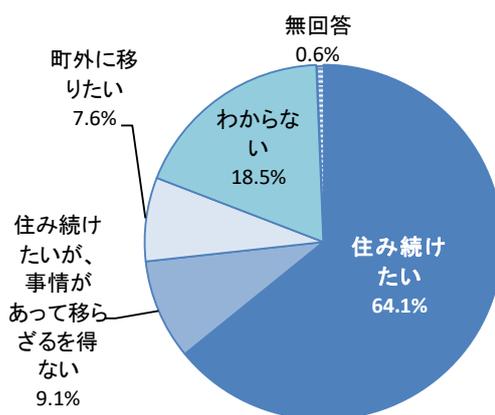
過去実施調査の結果をみると、「住み続けたい」の割合は「平成 26 年度調査」で 76.3%、「平成 30 年度調査」で 64.1%となっている。

図表Ⅱ-1-12 将来の鷹栖町への居留意向 (過去実施調査の結果)

【平成 26 年度調査 (N=292)】



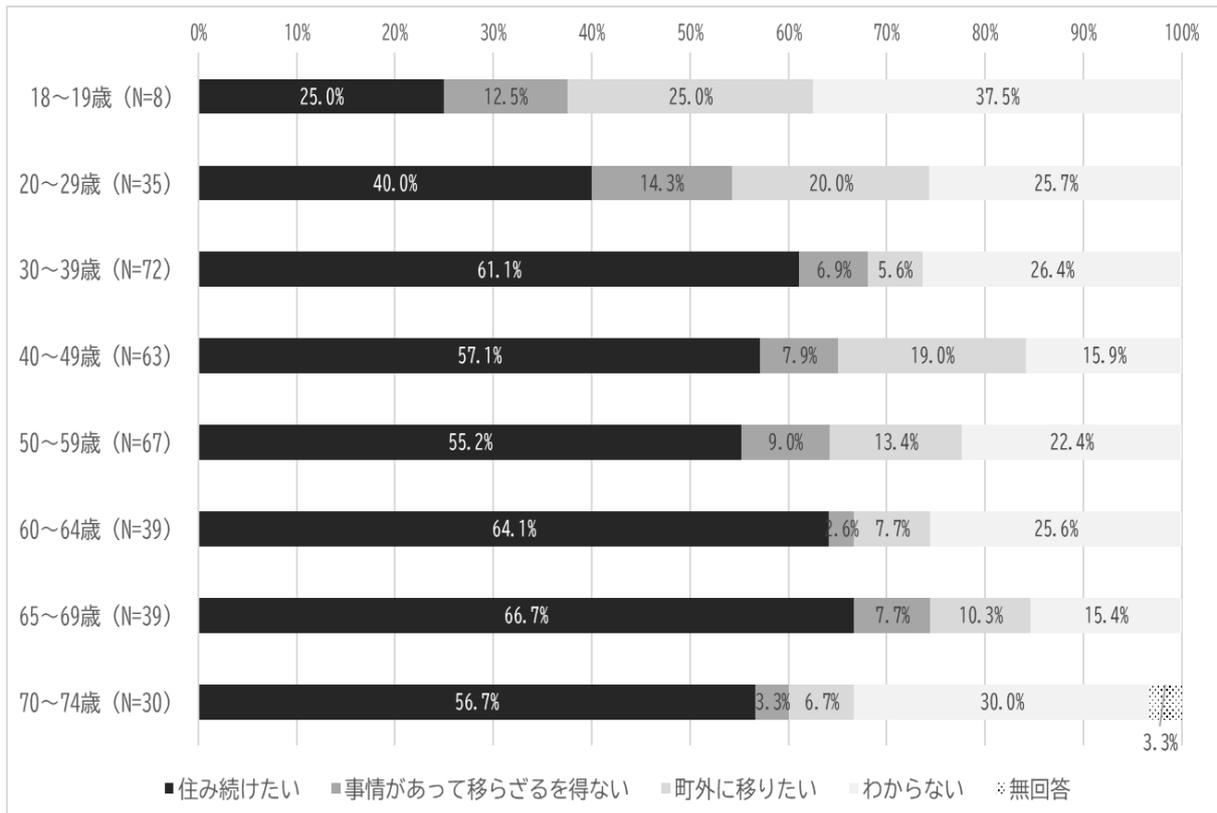
【平成 30 年度調査 (N=471)】



年齢別にみると、「18～19歳」「70～74歳」では「わからない」がそれぞれ37.5%、30.0%と、他の年齢と比べて割合が高くなっている。また「18～19歳」「20～29歳」では「町外に移りたい」が25.0%、20.0%と、他の年齢と比べて割合が高くなっている。

「30～39歳」「60～64歳」「65～69歳」では「住み続けたい」がそれぞれ6割を超え、比較的高い割合となっている。

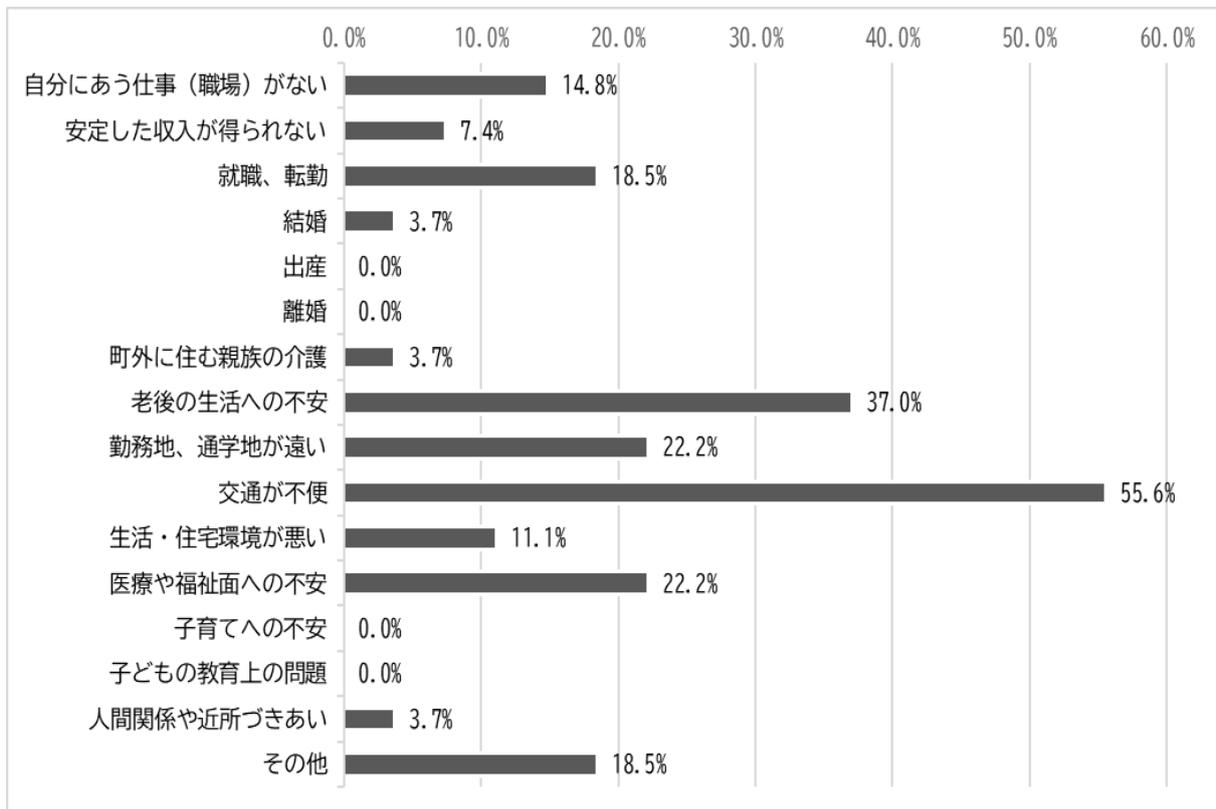
図表Ⅱ-1-13 将来の鷹栖町への居留意向（年齢別）



問9 事情があって鷹栖町から移らざるを得ない理由

問8で「住み続けたいが、事情があって移らざるを得ない」と回答した27人に、その理由をたずねたところ、「交通が不便」が55.6%と最も高く、次いで「老後の生活への不安」が37.0%となっている。

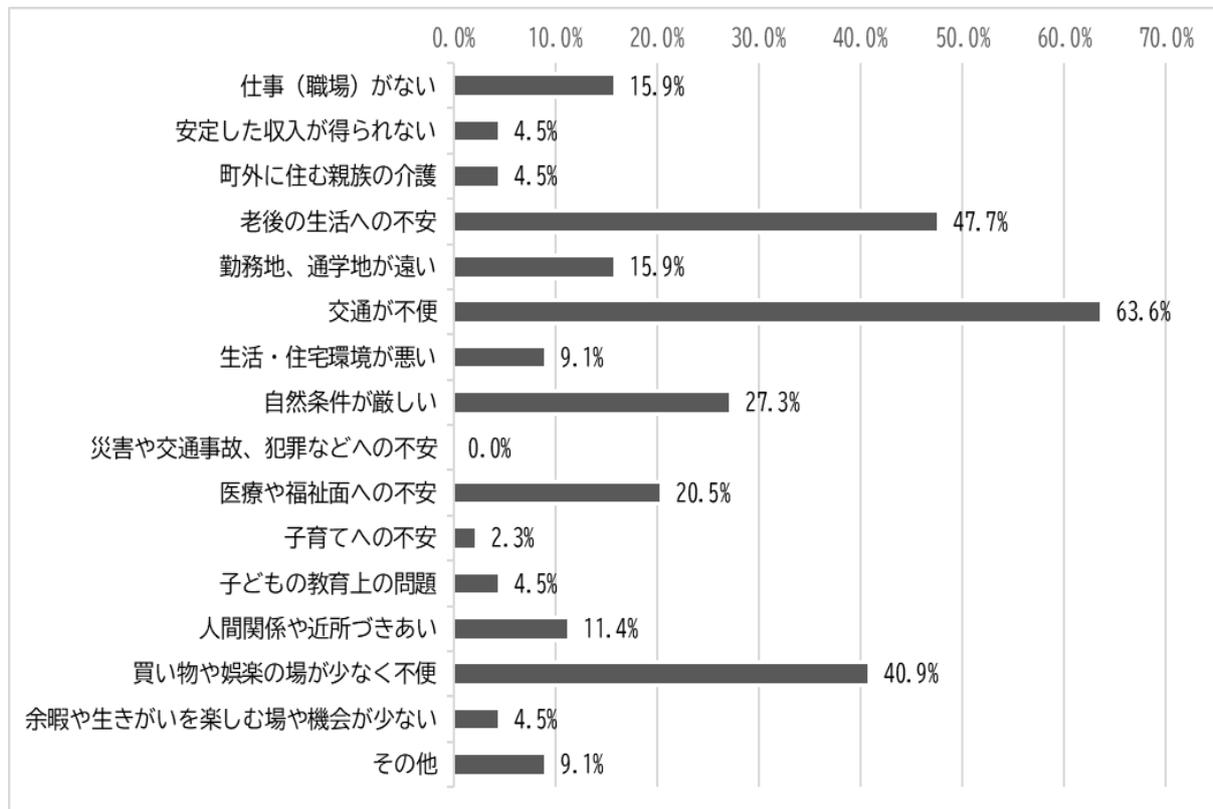
図表Ⅱ-1-14 事情があって鷹栖町から移らざるを得ない理由（複数回答、N=27）



### 問10 町外に移りたい方の意向

問8で「町外に移りたい」と回答した44人に、町外に移りたいと思う理由をたずねたところ、「交通が不便」が63.6%と最も高く、次いで「老後の生活への不安」が47.7%、「買い物や娯楽の場が少なく不便」が40.9%となっている。

図表Ⅱ-1-15 町外に移りたいと思う理由 (N=44)



## 2 鷹栖町での暮らしについて

### 問1 鷹栖町での暮らしについて

鷹栖町での暮らしについて、どのように感じているか、また、まちづくりで特に重要だと思う項目についてたずねた。

#### (1) 生活や環境に関すること

##### 【どのように感じているか】

生活や環境に関することについて、十分だと感じている（「強くそう感じる」「そう感じる」）割合が5割を超えていたのは、「道路や歩道の整備」、「冬の除雪や排雪体制」、「ごみの収集やごみを減らすリサイクルの取り組み」であった。

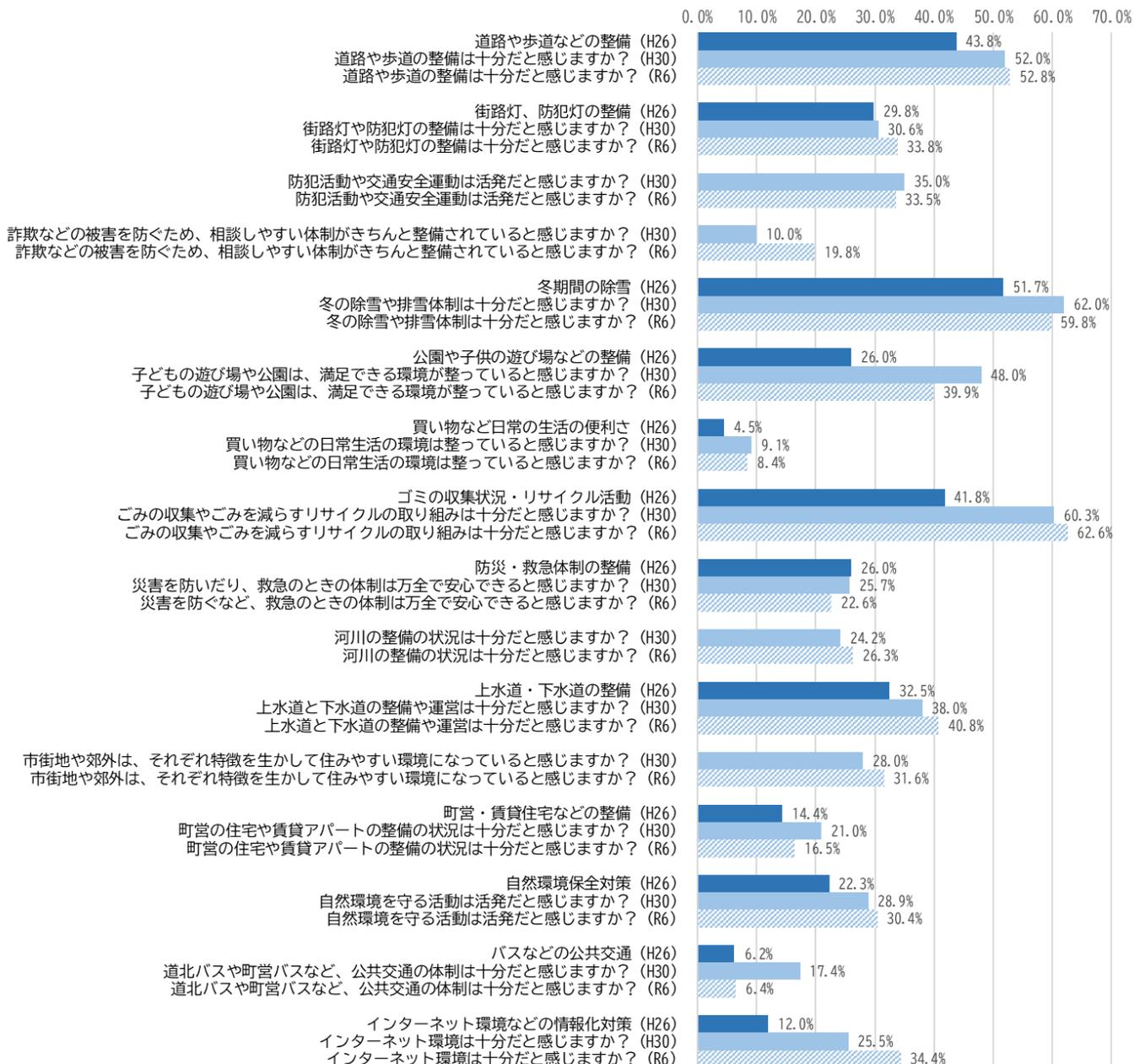
一方、十分ではないと感じている（「そうは感じない」「全くそうは感じない」）割合が5割を超えていたのは、「買い物などの日常生活の環境」「公共交通の体制」であった。

図表Ⅱ-2-1 生活や環境に関すること【どのように感じているか】(N=358)

【生活や環境に関すること】	強くそう感じる	そう感じる	どちらともいえない	そうは感じない	全くそうは感じない	わからない	無回答
①道路や歩道の整備は十分だと感じますか？	6.4%	46.4%	22.6%	16.8%	4.7%	2.0%	1.1%
②街路灯や防犯灯の整備は十分だと感じますか？	2.8%	31.0%	27.9%	24.3%	8.7%	3.9%	1.4%
③防犯活動や交通安全運動は活発だと感じますか？	4.2%	29.3%	35.5%	17.9%	4.2%	7.3%	1.7%
④詐欺などの被害を防ぐため、相談しやすい体制がきちんと整備されていると感じますか？	2.0%	17.9%	32.4%	17.3%	5.0%	24.0%	1.4%
⑤冬の除雪や排雪体制は十分だと感じますか？	18.7%	41.1%	15.1%	16.2%	5.9%	2.2%	0.8%
⑥子どもの遊び場や公園は、満足できる環境が整っていると感じますか？	5.9%	34.1%	26.8%	12.0%	5.3%	14.8%	1.1%
⑦買い物などの日常生活の環境は整っていると感じますか？	1.7%	6.7%	19.3%	38.8%	29.9%	2.5%	1.1%
⑧ごみの収集やごみを減らすリサイクルの取り組みは十分だと感じますか？	9.8%	52.8%	20.1%	7.8%	3.6%	4.2%	1.7%
⑨災害を防ぐなど、救急のときの体制は万全で安心できると感じますか？	2.2%	20.4%	40.2%	12.6%	3.9%	19.3%	1.4%
⑩河川の整備の状況は十分だと感じますか？	2.5%	23.7%	31.6%	9.5%	3.6%	27.9%	1.1%
⑪上水道と下水道の整備や運営は十分だと感じますか？	5.3%	35.5%	23.7%	10.6%	4.2%	20.4%	0.3%
⑫市街地や郊外は、それぞれ特徴を生かして住みやすい環境になっていると感じますか？	3.1%	28.5%	34.1%	16.8%	3.4%	13.7%	0.6%
⑬町営の住宅や賃貸アパートの整備の状況は十分だと感じますか？	0.8%	15.6%	25.7%	11.2%	3.1%	43.3%	0.3%
⑭自然環境を守る活動は活発だと感じますか？	3.1%	27.4%	29.1%	10.9%	5.3%	23.7%	0.6%
⑮道北バスや町営バスなど、公共交通の体制は十分だと感じますか？	0.8%	5.6%	16.8%	36.6%	25.1%	14.5%	0.6%
⑯インターネット環境は十分だと感じますか？	3.6%	30.7%	24.3%	15.6%	7.0%	18.4%	0.3%
⑰情報端末を活用して、生活の豊かさや利便性を向上したいと感じますか？	12.8%	36.0%	25.4%	11.5%	2.2%	11.2%	0.8%

過去実施調査においてまちづくりに関わる「満足度」をたずねる項目があり、可能な範囲で結果を比較する。過去実施調査で「満足・やや満足」、今年度調査で「強くそう感じる・そう感じる」と回答した割合を比べてみると、「街路灯や防犯灯の整備は十分だと感じますか?」「ごみの収集やごみを減らすリサイクルの取組は十分だと感じますか?」「自然環境を守る活動は活発だと感じますか?」「インターネット環境は十分だと感じますか?」などの項目で、過去実施調査より割合が高くなっている。

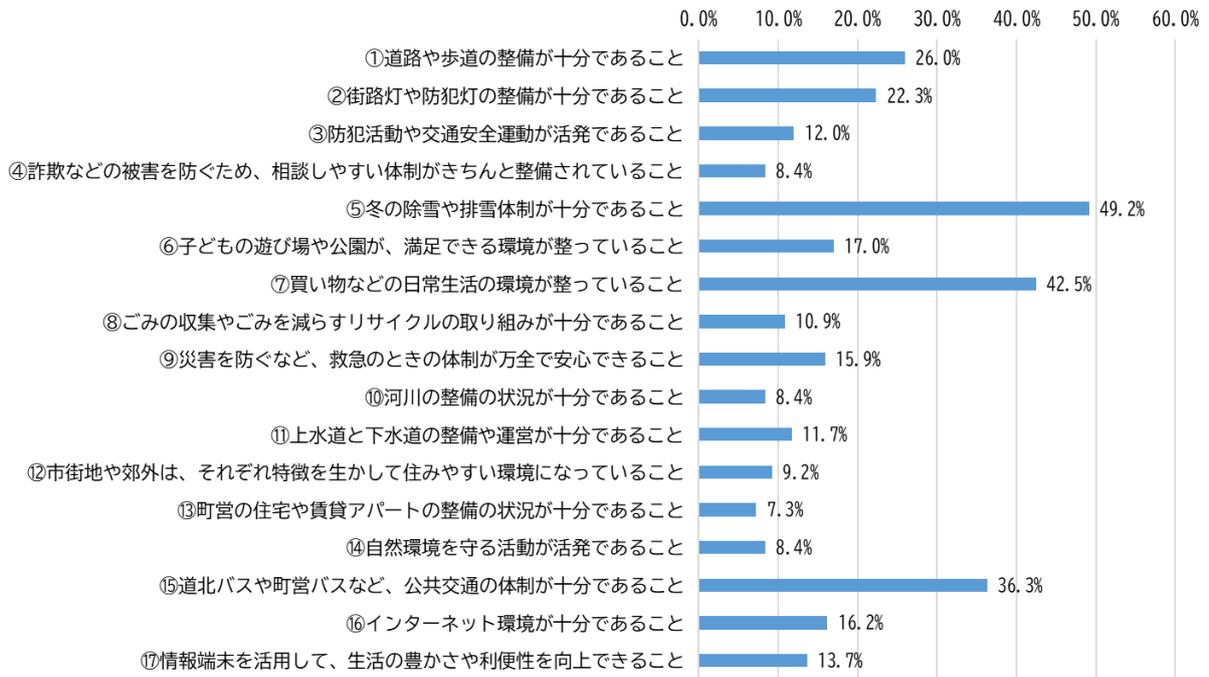
図表Ⅱ-2-2 過去実施調査との比較（生活や環境に関すること）



【特に重要だと思う項目】

生活や環境に関することで特に重要だと思う項目については、「冬の除雪や排雪体制が十分であること」が49.2%と最も高く、次いで「買い物などの日常生活の環境が整っていること」が42.5%、「道北バスや町営バスなど、公共交通の体制が十分であること」が36.3%となっている。

図表Ⅱ-2-3 生活や環境に関すること【特に重要だと思う項目】（複数回答、N=358）

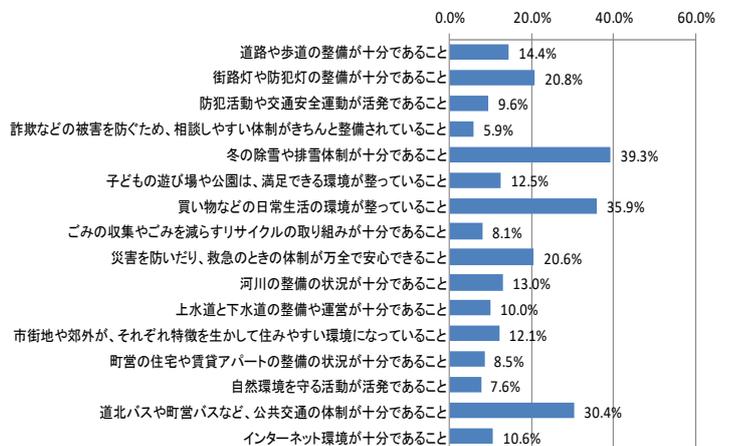
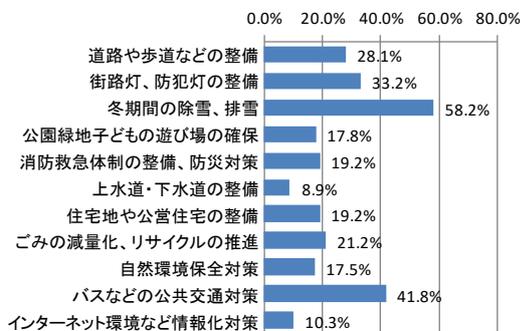


過去実施調査においては、「冬期間除雪、排雪」「バスなどの公共交通対策」「などの重要度が高かった。

図表Ⅱ-2-4 生活や環境に関すること【重要度】（過去実施調査の結果）

【平成26年度調査（N=292）】

【平成30年度調査（N=471）】



(2) 健康や福祉に関すること

【どのように感じているか】

健康や福祉に関することについて、十分だと感じている（「強くそう感じる」「そう感じる」）割合が5割を超えていた項目はなく、「安心して出産と子育てができ、子どもが健やかに育つことができる環境」「病気にならないための予防活動や、健康を維持するための活動」の項目が高かった。

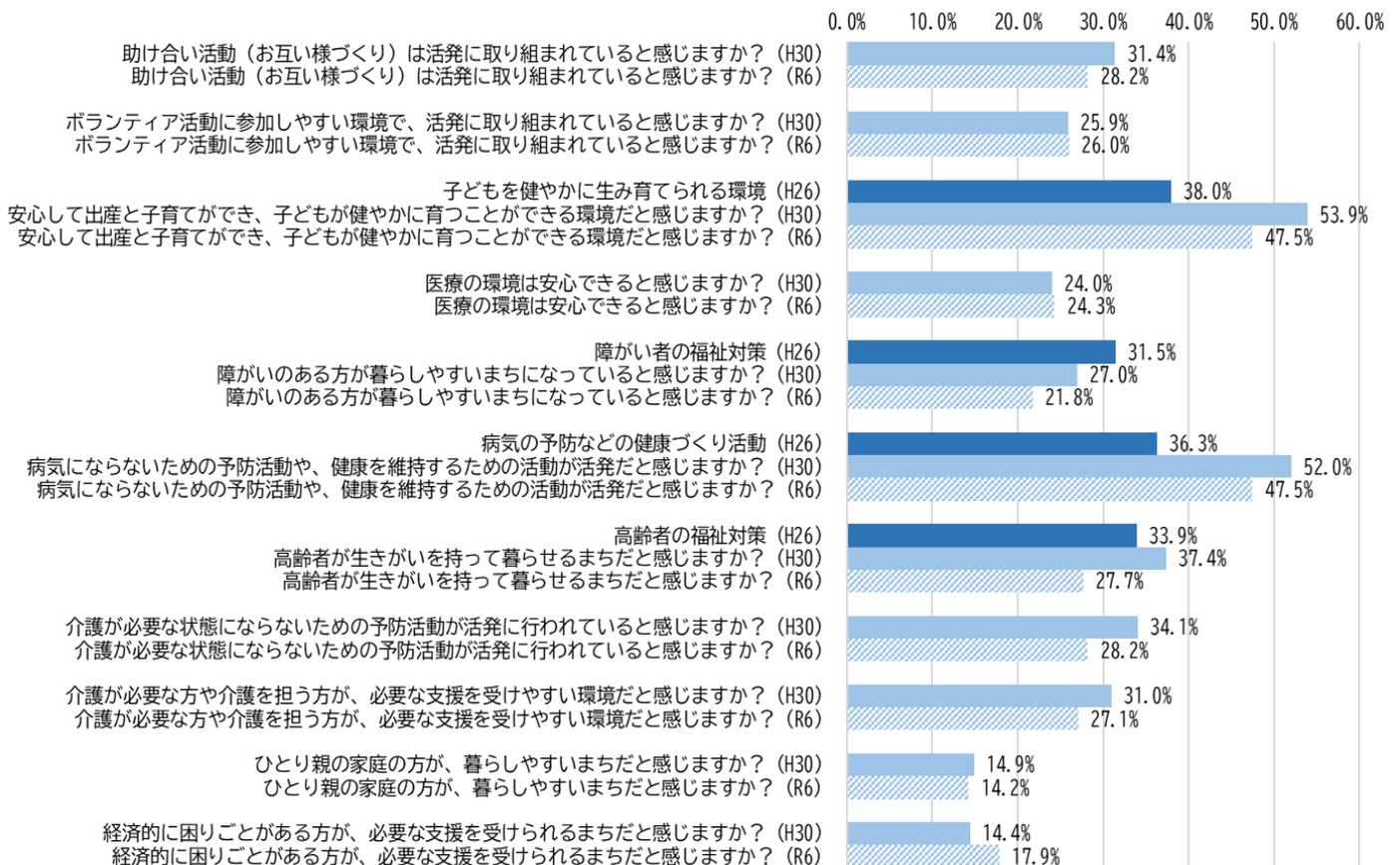
一方、十分ではないと感じている（「そうは感じない」「全くそうは感じない」）割合が高かったのは、「医療の環境」で、「そうは感じない」が25.9%、「全くそうは感じない」が8.5%となっている。

図表Ⅱ-2-5 健康や福祉に関すること【どのように感じているか】(N=358)

【健康や福祉に関すること】	強くそう感じる	そう感じる	どちらともいえない	そうは感じない	全くそうは感じない	わからない	無回答
①助け合い活動（お互い様づくり）は活発に取り組まれていると感じますか？	1.1%	27.1%	26.3%	11.5%	3.9%	26.8%	3.4%
②ボランティア活動に参加しやすい環境で、活発に取り組まれていると感じますか？	2.0%	24.0%	29.1%	12.3%	4.5%	24.9%	3.4%
③安心して出産と子育てができ、子どもが健やかに育つことができる環境だと感じますか？	8.1%	39.4%	20.4%	7.0%	2.2%	19.3%	3.6%
④医療の環境は安心できると感じますか？	3.4%	20.9%	29.6%	27.1%	9.8%	5.6%	3.6%
⑤障がいのある方が暮らしやすいまちになっていると感じますか？	2.2%	19.6%	25.1%	17.0%	3.6%	29.1%	3.4%
⑥病気にならないための予防活動や、健康を維持するための活動が活発だと感じますか？	6.4%	41.1%	25.1%	9.2%	0.8%	14.0%	3.4%
⑦高齢者が生きがいを持って暮らせるまちだと感じますか？	3.9%	23.7%	29.6%	13.7%	2.5%	23.2%	3.4%
⑧介護が必要な状態にならないための予防活動が活発に行われていると感じますか？	3.4%	24.9%	27.4%	8.9%	1.7%	30.4%	3.4%
⑨介護が必要な方や介護を担う方が、必要な支援を受けやすい環境だと感じますか？	2.0%	25.1%	27.7%	8.7%	2.5%	30.7%	3.4%
⑩ひとり親の家庭の方が、暮らしやすいまちだと感じますか？	2.5%	11.7%	27.7%	10.9%	3.6%	39.9%	3.6%
⑪経済的に困りごとがある方が、必要な支援を受けられるまちだと感じますか？	1.1%	16.8%	25.7%	8.4%	5.3%	39.1%	3.6%

過去実施調査においてまちづくりに関わる「満足度」をたずねる項目があり、可能な範囲で結果を比較する。過去実施調査で「満足・やや満足」、今年度調査で「強くそう感じる・そう感じる」と回答した割合を比べてみると、前回高かった「安心して出産と子育てができ、子どもが健やかに育つことができる環境だと感じますか?」「病気になるための予防活動や、健康を維持するための活動が活発だと感じますか?」含め、全体的に前回調査より割合が低くなっている。

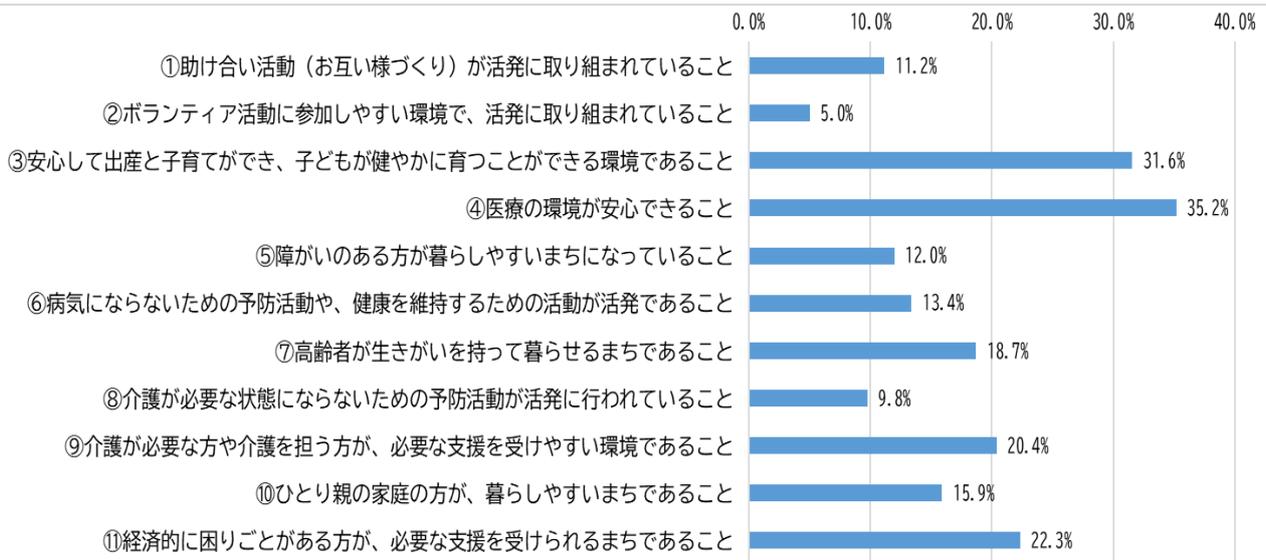
図表Ⅱ-2-6 過去実施調査との比較（健康や福祉に関すること）



【特に重要だと思う項目】

健康や福祉に関することで特に重要だと思う項目については、「医療の環境が安心できること」が35.2%と最も高く、次いで「安心して出産と子育てができ、子どもが健やかに育つことができる環境であること」が31.6%となっている。

図表Ⅱ-2-7 健康や福祉に関すること【特に重要だと思う項目】（複数回答、N=358）

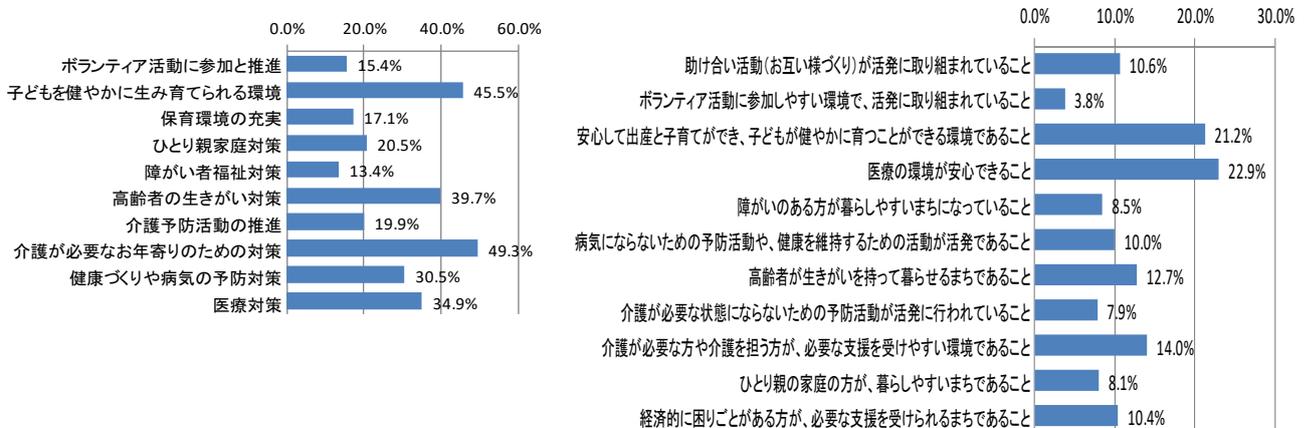


過去実施調査においては、「介護が必要なお年寄りのための対策」「子どもを健やかに生み育てられる環境」「医療対策」「高齢者の生きがい対策」などの重要度が高かった。

図表Ⅱ-2-8 健康や福祉に関すること【重要度】（過去実施調査の結果）

【平成26年度調査（N=292）】

【平成30年度調査（N=471）】



### (3) 教育や地域活動に関すること

#### 【どのように感じているか】

教育や地域活動に関することについて、十分だと感じている（「強くそう感じる」「そう感じる」）割合が5割を超えていたのは「メロディーホールなど、芸術や文化の活動が活発」のみであり、次いで「子どもたちは学校で良い環境で学んでいる」の割合が高かった。

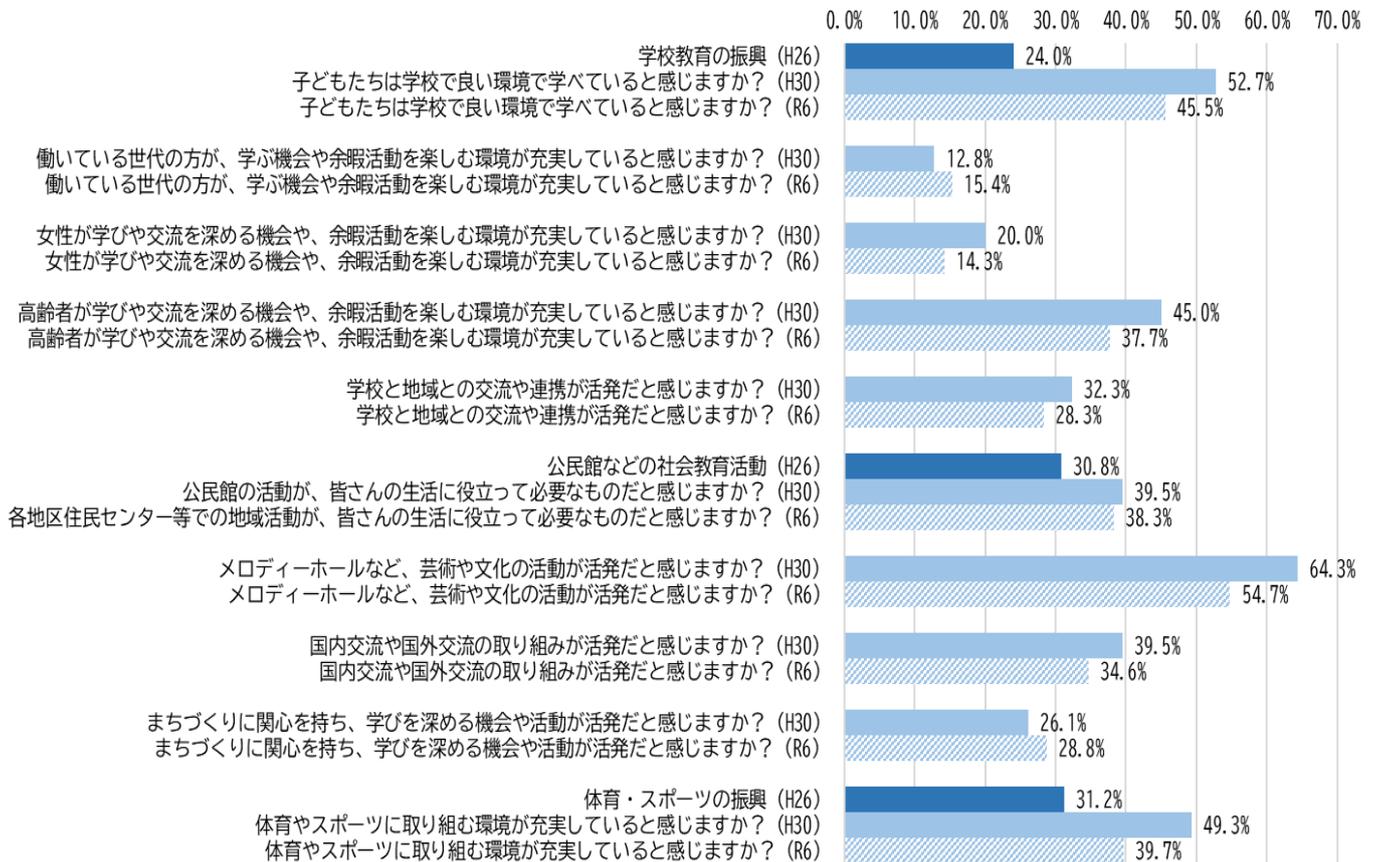
一方、十分ではないと感じている（「そうは感じない」「全くそうは感じない」）割合が高かったのは、「働いている世代の方が、学ぶ機会や余暇活動を楽しむ環境が充実している」となっている。

図表Ⅱ-2-9 教育や地域活動に関すること【どのように感じているか】(N=358)

【教育や地域活動に関すること】	強くそう感じる	そう感じる	どちらともいえない	そうは感じない	全くそうは感じない	わからない	無回答
①子どもたちは学校で良い環境で学んでいると感じますか？	6.1%	39.4%	19.8%	5.6%	0.8%	27.7%	0.6%
②働いている世代の方が、学ぶ機会や余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか？	1.1%	14.2%	32.4%	22.3%	5.9%	23.5%	0.6%
③女性が学びや交流を深める機会や、余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか？	0.3%	14.0%	29.4%	19.9%	3.9%	31.9%	0.6%
④高齢者が学びや交流を深める機会や、余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか？	3.4%	34.4%	23.2%	8.7%	1.4%	28.5%	0.6%
⑤学校と地域との交流や連携が活発だと感じますか？	2.8%	25.5%	25.5%	15.4%	2.8%	26.9%	1.1%
⑥各地区住民センター等での地域活動が、皆さんの生活に役立って必要なものだと感じますか？	3.9%	34.4%	28.8%	7.8%	3.9%	20.7%	0.6%
⑦メロディーホールなど、芸術や文化の活動が活発だと感じますか？	8.1%	46.6%	22.6%	8.1%	2.0%	12.0%	0.6%
⑧国内交流や国外交流の取り組みが活発だと感じますか？	3.9%	30.7%	26.8%	7.5%	2.2%	27.9%	0.8%
⑨まちづくりに関心を持ち、学びを深める機会や活動が活発だと感じますか？	1.4%	27.4%	32.4%	9.8%	2.5%	26.0%	0.6%
⑩体育やスポーツに取り組む環境が充実していると感じますか？	3.4%	36.3%	27.4%	9.5%	2.2%	20.4%	0.8%
⑪ふるさと鷹栖は子どもたちに誇れる“まち”だと感じますか？	4.7%	34.9%	26.8%	8.4%	4.5%	20.1%	0.6%
⑫人生を豊かにする読書活動が充実していると感じますか？	3.6%	23.5%	25.1%	14.5%	3.4%	29.3%	0.6%

過去実施調査においてまちづくりに関わる「満足度」をたずねる項目があり、可能な範囲で結果を比較する。過去実施調査で「満足・やや満足」、今年度調査で「強くそう感じる・そう感じる」と回答した割合を比べてみると、多くの項目で、過去調査より割合が低くなっている。

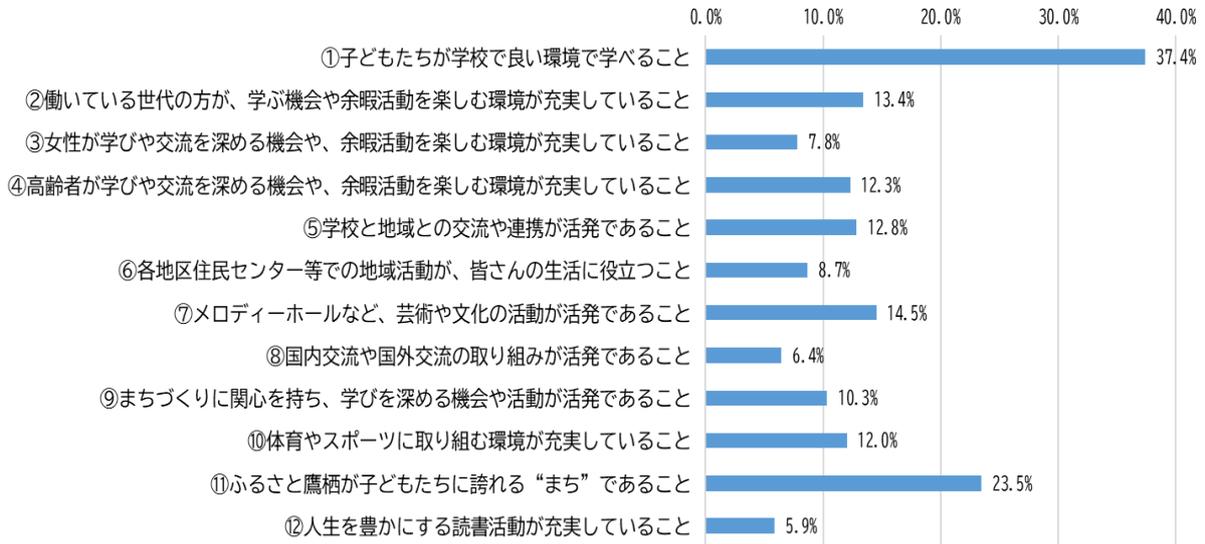
図表Ⅱ-2-10 過去実施調査との比較（教育や地域活動に関すること）（N=358）



【特に重要だと思う項目】

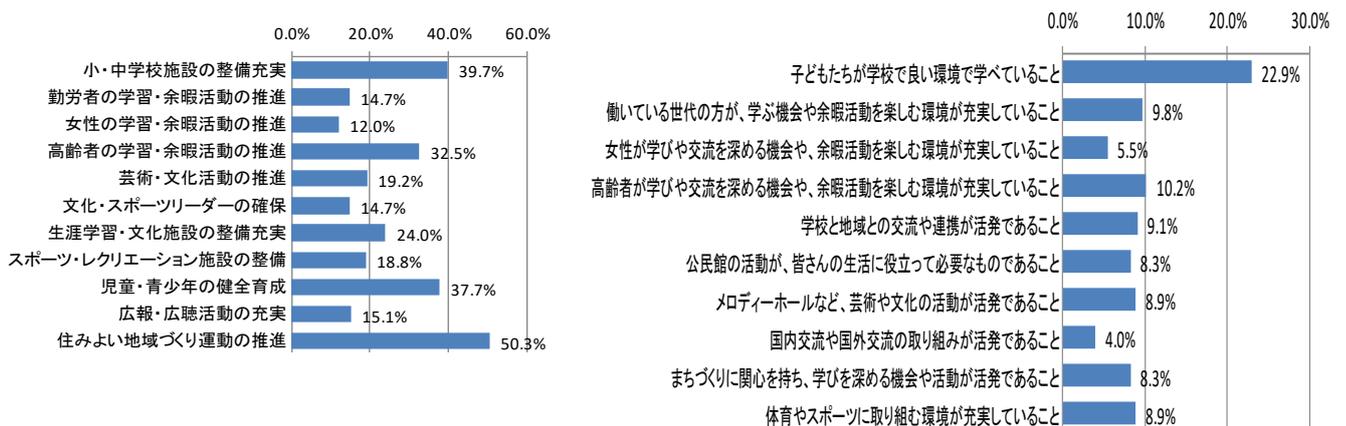
教育や地域活動に関することで特に重要だと思う項目については、「子どもたちが学校で良い環境で学んでいること」が37.4%と最も高く、次いで「ふるさと鷹栖が子どもたちに誇れる“まち”であること」が23.5%となっている。

図表Ⅱ-2-11 教育や地域活動に関すること【特に重要だと思う項目】（複数回答、N=358）



過去実施調査においても、「小・中学校施設の整備充実」「子どもたちが学校で良い環境で学んでいること」の重要度が高かった。

図表Ⅱ-2-12 教育や地域活動に関すること【重要度】（過去実施調査の結果）  
【平成26年度調査（N=292）】 【平成30年度調査（N=471）】



(4) 役場の広報活動などに関すること

【どのように感じているか】

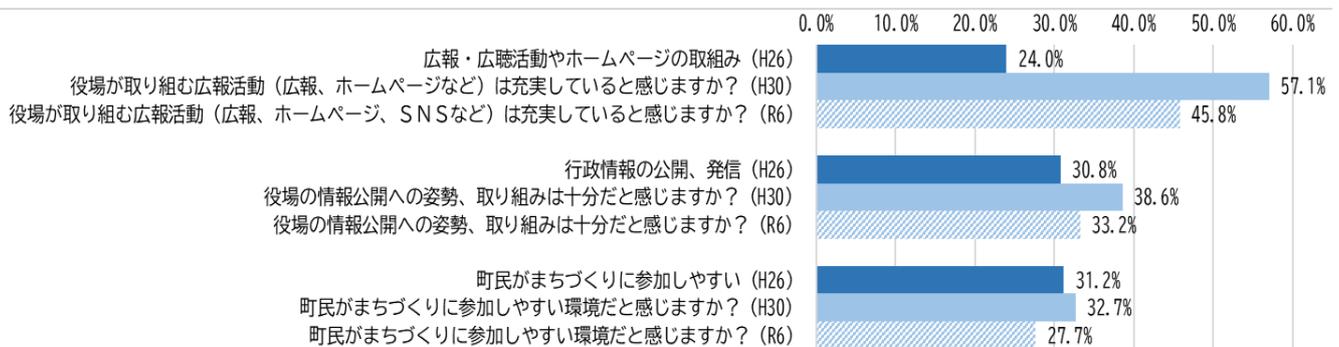
役場の広報活動などに関することについて、十分だと感じている（「強くそう感じる」「そう感じる」）割合が高かったのは、「役場が取り組む広報活動（広報、ホームページなど）は充実している」であった。

図表Ⅱ-2-13 役場の広報活動などに関すること【どのように感じているか】(N=358)

【役場の広報活動などに関すること】	強くそう感じる	そう感じる	どちらともいえない	そうは感じない	全くそうは感じない	わからない	無回答
①役場が取り組む広報活動（広報、ホームページ、SNSなど）は充実していると感じますか？	4.5%	41.3%	28.5%	8.1%	3.9%	12.0%	1.7%
②役場の情報公開への姿勢、取り組みは十分だと感じますか？	2.8%	30.4%	30.4%	10.6%	4.7%	19.3%	1.7%
③町民がまちづくりに参加しやすい環境だと感じますか？	2.2%	25.4%	34.1%	14.8%	4.2%	17.3%	2.0%

過去実施調査においてまちづくりに関わる「満足度」をたずねる項目があり、可能な範囲で結果を比較する。過去実施調査で「満足・やや満足」、今年度調査で「強くそう感じる・そう感じる」と回答した割合を比べてみると、いずれの項目でも過去調査より割合が低くなっている。特に「役場が取り組む広報活動（広報、ホームページなど）は充実していると感じますか？」が大きく低くなっている。

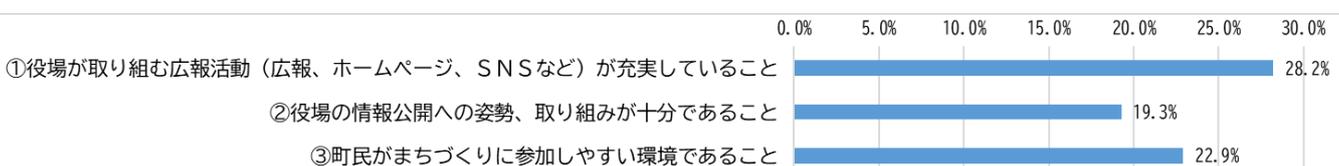
図表Ⅱ-2-14 過去実施調査との比較（役場の広報活動などに関すること）



【特に重要だと思う項目】

役場の広報活動などに関することで特に重要だと思う項目については、「役場が取り組む広報活動（広報、ホームページなど）は充実していること」が28.2%と最も高くなっている。

図表Ⅱ-2-15 役場の広報活動などに関すること【特に重要だと思う項目】（複数回答、N=358）



(5) 産業に関すること

【どのように感じているか】

産業に関することについて、十分だと感じている（「強くそう感じる」「そう感じる」）割合が高かったのは、「新規就農者や農林業を担う方たちが、元気に活発に活動している」「安全・安心な食を生産するための農業の取り組みは充実している」であった。

一方、十分ではないと感じている（「そうは感じない」「全くそうは感じない」）割合が高かったのは、「魅力的な観光の取り組みが進んでいる」、「町内で働く場所や働く機会が増えて、充実している」であった。

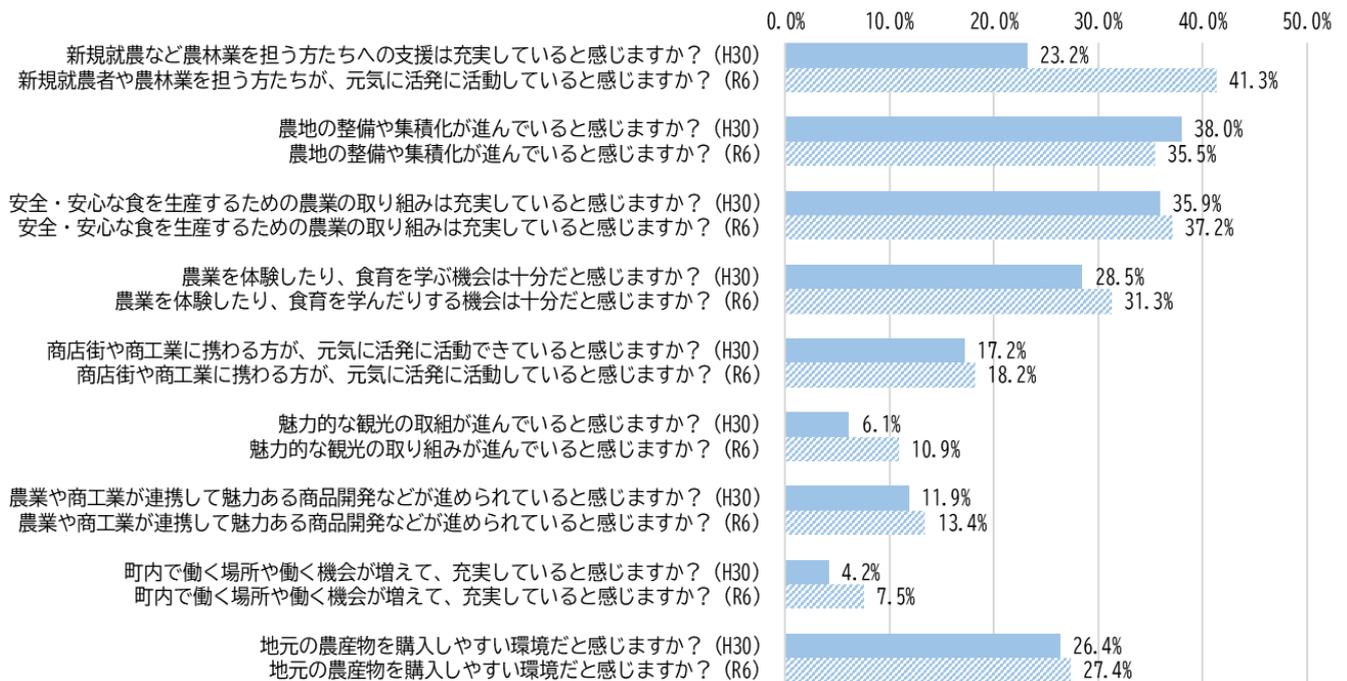
図表Ⅱ-2-16 産業に関すること【どのように感じているか】(N=358)

【産業に関すること】	強くそう感じる	そう感じる	どちらともいえない	そうは感じない	全くそうは感じない	わからない	無回答
①新規就農者や農林業を担う方たちが、元気に活発に活動していると感じますか？	6.1%	35.2%	18.7%	7.0%	1.7%	29.3%	2.0%
②農地の整備や集積化が進んでいると感じますか？	4.7%	30.7%	21.2%	4.5%	2.2%	34.6%	2.0%
③安全・安心な食を生産するための農業の取り組みは充実していると感じますか？	3.6%	33.5%	22.3%	6.4%	1.1%	31.0%	2.0%
④農業を体験したり、食育を学んだりする機会は十分だと感じますか？	4.5%	26.8%	28.8%	10.1%	1.7%	25.7%	2.5%
⑤商店街や商工業に携わる方が、元気に活発に活動していると感じますか？	1.4%	16.8%	29.1%	17.3%	5.6%	27.9%	2.0%
⑥魅力的な観光の取り組みが進んでいると感じますか？	0.0%	10.9%	21.5%	28.8%	19.8%	17.3%	1.7%
⑦農業や商工業が連携して魅力ある商品開発などが進められていると感じますか？	1.1%	12.3%	26.0%	22.9%	10.3%	25.4%	2.0%
⑧町内で働く場所や働く機会が増えて、充実していると感じますか？	0.6%	7.0%	21.2%	31.6%	17.3%	20.1%	2.2%
⑨地元の農産物を購入しやすい環境だと感じますか？	2.5%	24.9%	23.2%	26.3%	9.8%	11.5%	2.0%

過去実施調査においてまちづくりに関わる「満足度」をたずねる項目があり、可能な範囲で結果を比較する。

「新規就農者や農林業を担う方たちが、元気に活発に活動していると感じますか？」では大きく割合が高くなっており、その他項目についても全般的に前回よりも割合が高い項目が多くなっている。

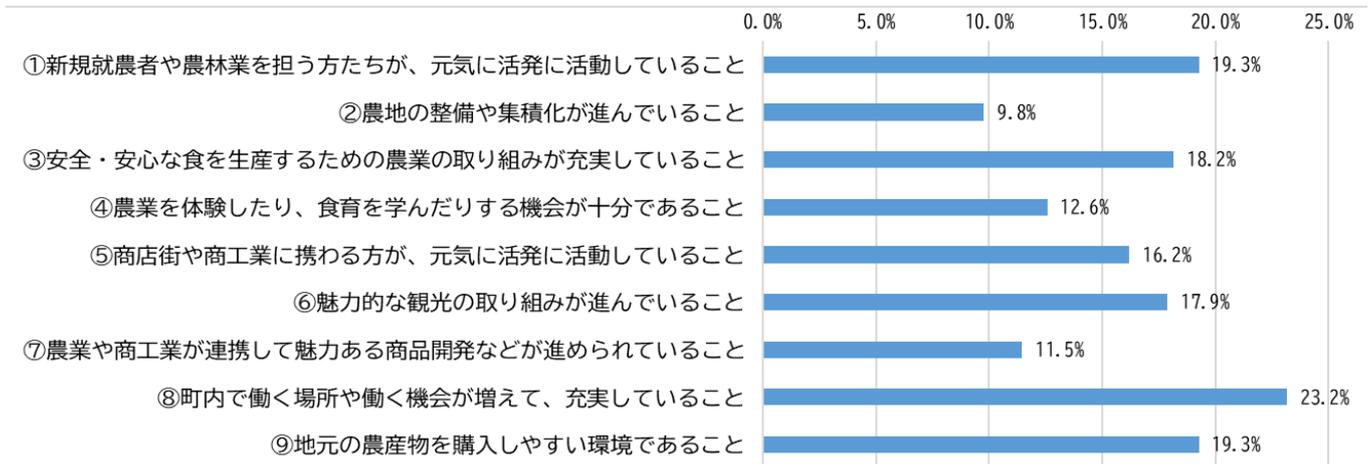
図表Ⅱ-2-17 過去実施調査との比較（産業に関すること）



【特に重要だと思う項目】

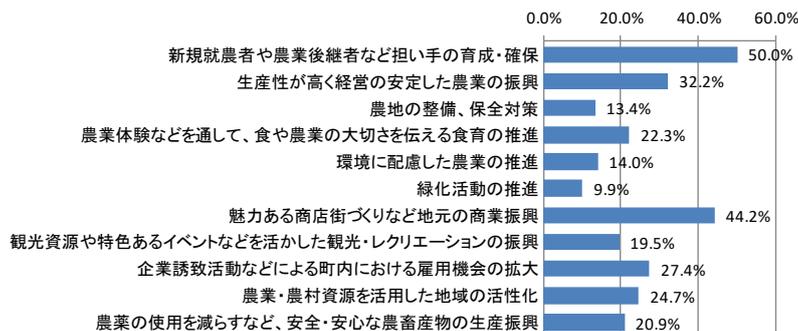
産業に関することで特に重要だと思う項目については、「町内で働く場所や働く機会が増えて、充実していること」が23.2%と最も高く、次いで「地元の農産物を購入しやすい環境であること」が19.3%となっている。

図表Ⅱ-2-18 産業に関すること【特に重要だと思う項目】（複数回答、N=471）

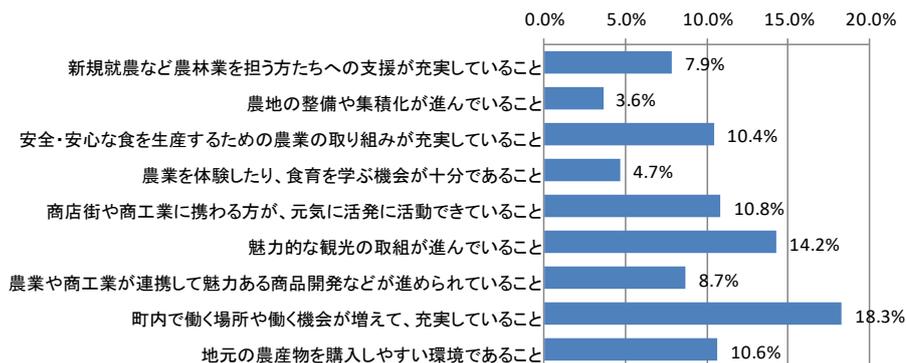


過去実施調査においては、「新規就農者や農業後継者など担い手の育成・確保」「魅力ある商店街づくりなど地元の商業振興」「町内で働く場所や働く機会が増えて、充実していること」などの重要度が高かった。

図表Ⅱ-2-19 産業の振興に関すること【重要度】（過去実施調査の結果）  
【平成26年度（N=292）】



【平成30年度（N=471）】



問 11 で「どのように感じているか」を訪ねた設問について「強くそう感じる」を 5 点、「全くそうは感じない」を 1 点とした 5 段階評価として平均値を集計した。

最も平均点が高かったのは「(3) ①子どもたちは学校で良い環境で学んでいると感じますか？」で 3.62 点、最も低かったのは「(1) ⑮道北バスや町営バスなど、公共交通の体制は十分だと感じますか？」で 2.06 点であった。

図表Ⅱ-2-20 「どのように感じているか」の 5 段階評価 (平均値)

【生活や環境に関すること】	策定時	今回	平均値差
①道路や歩道の整備は十分だと感じますか？	3.33	3.34	0.01
②街路灯や防犯灯の整備は十分だと感じますか？	2.86	2.95	0.09
③防犯活動や交通安全運動は活発だと感じますか？	3.16	3.13	-0.03
④詐欺などの被害を防ぐため、相談しやすい体制がきちんと整備されていると感じますか？	2.91	2.93	0.02
⑤冬の除雪や排雪体制は十分だと感じますか？	3.58	3.52	-0.06
⑥子どもの遊び場や公園は、満足できる環境が整っていると感じますか？	3.42	3.28	-0.14
⑦買い物などの日常生活の環境は整っていると感じますか？	2.11	2.08	-0.03
⑧ごみの収集やごみを減らすリサイクルの取り組みは十分だと感じますか？	3.64	3.61	-0.03
⑨災害を防ぐなど、救急のときの体制は万全で安心できると感じますか？	3.05	3.06	0.01
⑩河川の整備の状況は十分だと感じますか？	3.08	3.17	0.09
⑪上水道と下水道の整備や運営は十分だと感じますか？	3.33	3.34	0.01
⑫市街地や郊外は、それぞれ特徴を生かして住みやすい環境になっていると感じますか？	3.04	3.13	0.09
⑬町営の住宅や賃貸アパートの整備の状況は十分だと感じますか？	3.15	3.00	-0.15
⑭自然環境を守る活動は活発だと感じますか？	3.22	3.16	-0.06
⑮道北バスや町営バスなど、公共交通の体制は十分だと感じますか？	2.52	2.06	-0.46
⑯インターネット環境は十分だと感じますか？	2.90	3.10	0.20
⑰情報端末を活用して、生活の豊かさや利便性を向上したいと感じますか？	-	3.52	-

【健康や福祉に関すること】	策定時	今回	平均値差
①助け合い活動（お互い様づくり）は活発に取り組まれていると感じますか？	3.24	3.14	-0.10
②ボランティア活動に参加しやすい環境で、活発に取り組まれていると感じますか？	3.15	3.09	-0.06
③安心して出産と子育てができ、子どもが健やかに育つことができる環境だと感じますか？	3.69	3.57	-0.12
④医療の環境は安心できると感じますか？	2.83	2.79	-0.04
⑤障がいのある方が暮らしやすいまちになっていると感じますか？	3.21	3.00	-0.21
⑥病気になるための予防活動や、健康を維持するための活動が活発だと感じますか？	3.58	3.52	-0.06
⑦高齢者が生きがいを持って暮らせるまちだと感じますか？	3.34	3.17	-0.17
⑧介護が必要な状態にならないための予防活動が活発に行われていると感じますか？	3.37	3.29	-0.08
⑨介護が必要な方や介護を担う方が、必要な支援を受けやすい環境だと感じますか？	3.32	3.23	-0.09
⑩ひとり親の家庭の方が、暮らしやすいまちだと感じますか？	2.99	2.98	-0.01
⑪経済的に困りごとがある方が、必要な支援を受けられるまちだと感じますか？	3.06	3.00	-0.06
【教育や地域活動に関すること】	策定時	今回	平均値差
①子どもたちは学校で良い環境で学んでいると感じますか？	3.70	3.62	-0.08
②働いている世代の方が、学ぶ機会や余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか？	2.72	2.77	0.05
③女性が学びや交流を深める機会や、余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか？	2.96	2.81	-0.15
④高齢者が学びや交流を深める機会や、余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか？	3.57	3.42	-0.15
⑤学校と地域との交流や連携が活発だと感じますか？	3.30	3.14	-0.16
⑥各地区住民センター等での地域活動が、皆さんの生活に役立って必要なものだと感じますか？	3.34	3.34	0.00
⑦メロディーホールなど、芸術や文化の活動が活発だと感じますか？	3.71	3.58	-0.13
⑧国内交流や国外交流の取り組みが活発だと感じますか？	3.46	3.37	-0.09
⑨まちづくりに関心を持ち、学びを深める機会や活動が活発だと感じますか？	3.14	3.21	0.07
⑩体育やスポーツに取り組む環境が充実していると感じますか？	3.53	3.37	-0.16
⑪ふるさと鷹栖は子どもたちに誇れる“まち”だと感じますか？	-	3.34	-
⑫人生を豊かにする読書活動が充実していると感じますか？	-	3.14	-
【役場の広報活動などに関すること】	策定時	今回	平均値差
①役場が取り組む広報活動（広報、ホームページ、SNSなど）は充実していると感じますか？	3.65	3.40	-0.25
②役場の情報公開への姿勢、取り組みは十分だと感じますか？	3.39	3.20	-0.19
③町民がまちづくりに参加しやすい環境だと感じますか？	3.20	3.08	-0.12
【産業に関すること】	策定時	今回	平均値差
①新規就農者や農林業を担う方たちが、元気に活発に活動していると感じますか？	3.28	3.54	0.26
②農地の整備や集積化が進んでいると感じますか？	3.57	3.49	-0.08
③安全・安心な食を生産するための農業の取り組みは充実していると感じますか？	3.43	3.48	0.05
④農業を体験したり、食育を学んだりする機会は十分だと感じますか？	3.22	3.31	0.09
⑤商店街や商工業に携わる方が、元気に活発に活動していると感じますか？	2.78	2.87	0.09
⑥魅力的な観光の取り組みが進んでいると感じますか？	2.15	2.29	0.14
⑦農業や商工業が連携して魅力ある商品開発などが進められていると感じますか？	2.53	2.60	0.07
⑧町内で働く場所や働く機会が増えて、充実していると感じますか？	2.15	2.25	0.10
⑨地元の農産物を購入しやすい環境だと感じますか？	2.81	2.82	0.01

平均点の上位 10 位と、下位 10 位は、図表Ⅱ-2-21 のとおりである。

図表Ⅱ-2-21 「どのように感じているか」の 5 段階評価（平均点）、上位 10 位、下位 10 位

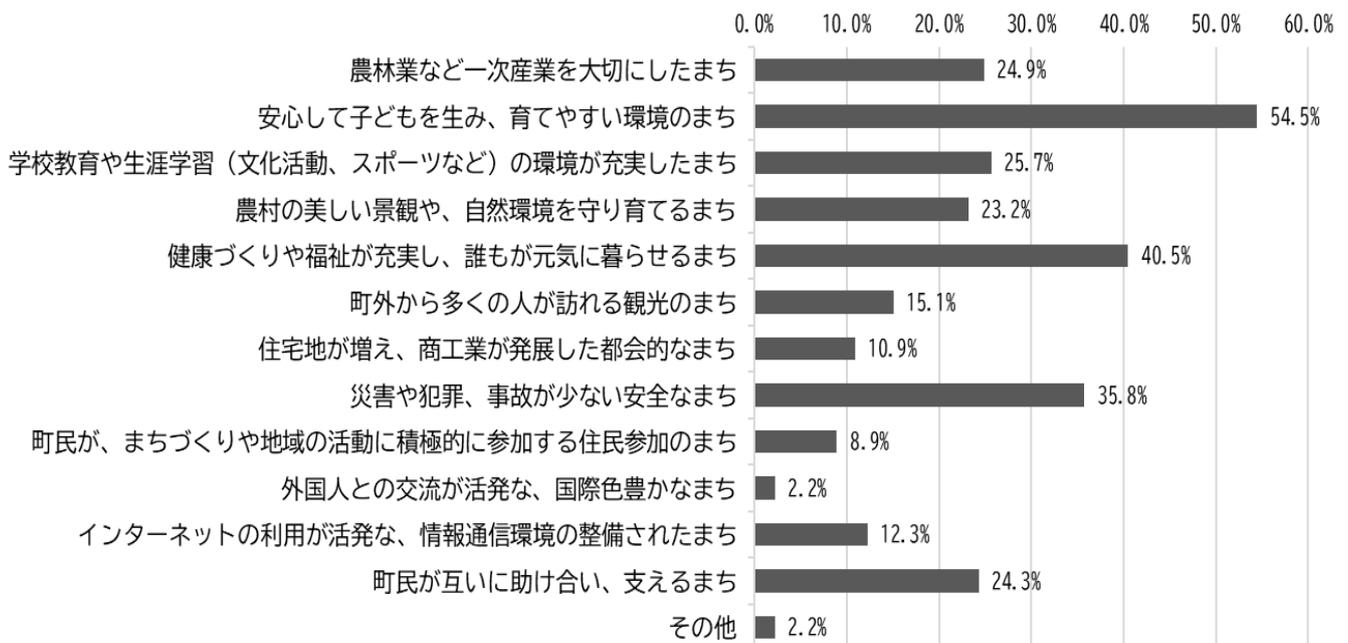
項目	平均点
(3) ①子どもたちは学校で良い環境で学んでいると感じますか？	3.62
(1) ⑧ごみの収集やごみを減らすリサイクルの取り組みは十分だと感じますか？	3.61
(3) ⑦メロディーホールなど、芸術や文化の活動が活発だと感じますか？	3.58
(2) ③安心して出産と子育てができ、子どもが健やかに育つことができる環境だと感じますか？	3.57
(5) ①新規就農者や農林業を担う方たちが、元気に活発に活動していると感じますか？	3.54
(1) ⑤冬の除雪や排雪体制は十分だと感じますか？	3.52
(1) ⑰情報端末を活用して、生活の豊かさや利便性を向上したいと感じますか？	3.52
(2) ⑥病気にならないための予防活動や、健康を維持するための活動が活発だと感じますか？	3.52
(5) ②農地の整備や集積化が進んでいると感じますか？	3.49
(5) ③安全・安心な食を生産するための農業の取り組みは充実していると感じますか？	3.48

項目	平均点
(5) ⑤商店街や商工業に携わる方が、元気に活発に活動していると感じますか？	2.87
(5) ⑨地元の農産物を購入しやすい環境だと感じますか？	2.82
(3) ③女性が学びや交流を深める機会や、余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか？	2.81
(2) ④医療の環境は安心できると感じますか？	2.79
(3) ②働いている世代の方が、学ぶ機会や余暇活動を楽しむ環境が充実していると感じますか？	2.77
(5) ⑦農業や商工業が連携して魅力ある商品開発などが進められていると感じますか？	2.60
(5) ⑥魅力的な観光の取り組みが進んでいると感じますか？	2.29
(5) ⑧町内で働く場所や働く機会が増えて、充実していると感じますか？	2.25
(1) ⑦買い物などの日常生活の環境は整っていると感じますか？	2.08
(1) ⑮道北バスや町営バスなど、公共交通の体制は十分だと感じますか？	2.06

問12 10年後の鷹栖町がどのようなまちになってほしいか

10年後の鷹栖町が、どのようなまちになってほしいかをたずねたところ、「安心して子どもを生み、育てやすい環境のまち」が54.5%と最も高く、次いで「健康づくりや福祉が充実し、誰もが元気に暮らせるまち」が40.5%、「災害や犯罪、事故が少ない安全なまち」が35.8%となっている。

図表Ⅱ-2-22 10年後の鷹栖町がどのようなまちになってほしいか（複数回答、N=358）

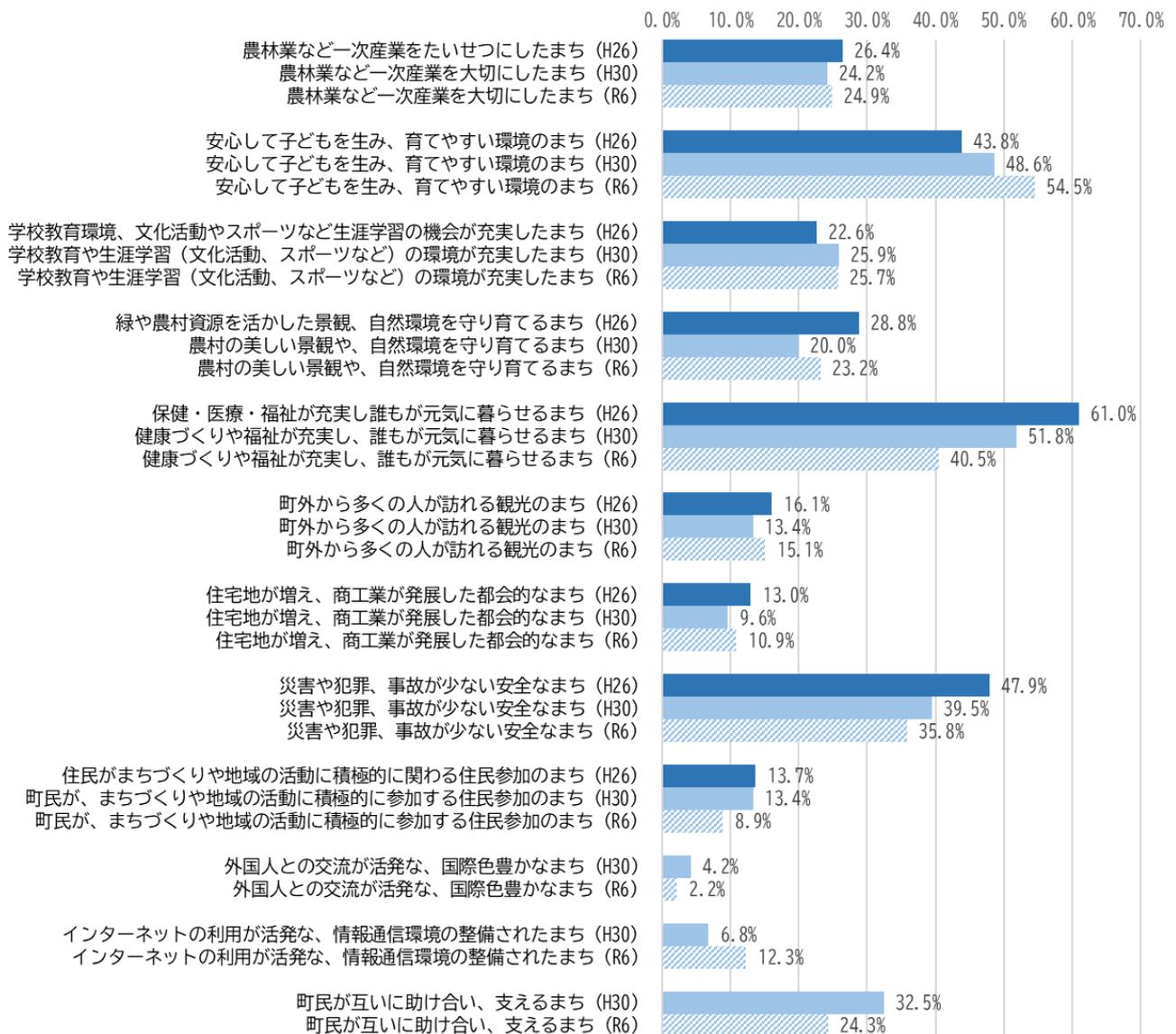


過去実施調査の結果と比較する。設問項目が異なるものもあるため、厳密な比較結果ではないものの、「安心して子どもを産み、育てやすい環境のまち」が過去から徐々に割合が高くなっている。

「健康づくりや福祉が充実し誰もが元気に暮らせるまち」「災害や犯罪、事故が少ない安全なまち」などの項目では、過去から徐々に割合が低くなっている。

図表Ⅱ-2-23 過去実施調査との比較

10年後の鷹栖町がどのようなまちになってほしいか（複数回答）



問13 鷹栖町のまち（まちづくり）について良いと思っているところ（自由記入）

鷹栖町のまち（まちづくり）について良いと思っているところについて自由に記入してもらったところ、主な意見は次のようであった。

基本目標	主な意見
<p>1. 人が輝くまち （教育・運動・文化・郷土など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・町民みんなで町をきれいにするところ、町民文化祭／30歳代, 女性</li> <li>・あったかすくんへのキャラ愛、図書館／30歳代, 女性</li> <li>・全年齢が楽しめるスポーツ施設、体育館とメロディーホール／65～69歳, 男性</li> <li>・スポーツ活動の充実。／50歳代, 男性</li> <li>・高齢者がスポーツを楽しめる環境がある。／60～64歳, 男性</li> <li>・鷹栖町の郷土誌「新郷土たかす」は長年にわたり発行されている。近隣町村でこれだけ長く継続されているものはなく、旭川文学資料館からも高く評価されている。このことを誇りにこの先20年後も発行されることに期待。／65～69歳, 女性</li> <li>・子どもたちのふるさと共育、町を離れてももう一度戻ってきたいと思える取り組み／20歳代, 女性</li> <li>・小学校でお米づくりを行えたことがとても貴重なだったと思います。毎日食べているお米の作り方を学ぶことで食への関心や感謝をするきっかけになりました。そのため、子どもへの教育として続けて欲しいと思います。／20歳代, 女性</li> </ul>
<p>2. 幸せな暮らしを実現するまち （子育て・福祉・健康づくりなど）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・福祉に力を入れていること／50歳代, 女性</li> <li>・歩数チャレンジ／30歳代, 男性</li> <li>・学校教育の無料化、子育て家族への必要な支援／60～64歳, 男性</li> <li>・子育てに良い町、上川郡鷹栖町のままでいてほしい／30歳代, 女性</li> <li>・旭川近郊でありながら、自然あふれる環境で暮らしやすいところ。10年20年後も子どもたちが伸び伸びとできて安心して子育てできる町であってほしい。／30歳代, 女性</li> <li>・医療費の年齢が伸びたこと、熱夏フェスの他たかすマルシェや図書室まつりなどイベントが増えた、助産師との連携が気軽にできるようになり母親がゆっくりできる時間が作れていること／30歳代, 女性</li> <li>・子どもは減ってはきていますが、スポーツにチャレンジできる環境だったり、子どもを預ける場所があったりなど、子育て世代には良いことだと思います。一番大変な時（出生から小学校低学年）サポートしてもらえることはとても良いことだと思います。（子育て支援、学童）／40歳代, 女性</li> <li>・農業や子育てをしやすい今の環境をこのまま未来に残して欲しい。役場職員の皆さんはいつも一生懸命で感謝しています。／30歳代, 男性</li> </ul>
<p>3. 幸せなしごとをつくるまち （農業・商工業・観光など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パレットヒルズの夜桜ライトアップ／30歳代, 女性</li> <li>・パレットヒルズの有効活用（いろいろなイベントを開催している）パレットヒルズの発展と土地の広さを生かした野外フェス（大物アーティストを呼ぶ）などをしてパレットヒルズを残していく。／40歳代, 男性</li> <li>・産業においても福祉においても現在おかれている状況への対応は素早く、町としての柔軟さを感じます。国全体として、今後子どもの数は減少していき、支えていく立場の人間は減り、細かいこ</li> </ul>

	<p>とも自立していかねばならないという危惧があります。そのためにも1人1人の可能性を広げられる何かがあるといいなと思うのですが…。むずかしいですね。この鷹栖の自然あふれた景観や田んぼの美しさはいつまでも守っていききたいものですね。戻ってきたいなー！と思ってもらえるような。／30歳代,女性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・オオカミの桃／50歳代,女性</li> <li>・オオカミの桃はずっと残しておいてほしい／40歳代,女性</li> <li>・おいしいお米！農業！／20歳代,男性</li> <li>・農業は自然を守る点でも自給自足までいかずとも地産地消の点からも残し守るべきと思います。一戸で維持は難しく、複数の協力で維持し共生できる体制支援を農協とは別に町としてもあったら良いのではないかと思う。人が増えることも必須なので、明確な分業と就業モデルのような案内込みで、入町や職業の案内を広報にのせてみても良いのかも。／40歳代,女性</li> <li>・河川敷の休憩スペースをきれいにして欲しい。景色が良いのでサイクリングロードの充実。／40歳代,女性</li> </ul>
<p>4. 幸せな環境を 持続するまち (都市機能・防災・インフラ・自然環境など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・インフラ整備は十分なのでそれを使いこなせるかどうかで利便性の感じ方は分かれる。50年先を見据えてITリテラシー、金融、問題解決能力、の教育を充実させることが重要。100年間変化のない標準教育からの脱却をせつに願う／40歳代,男性</li> <li>・除雪がきれい／18～19歳,男性</li> <li>・道路が広い、公園（遊具あり）が多い／30歳代,女性</li> <li>・排雪体制／30歳代,男性</li> <li>・北野の花壇のマリーゴールドがきれい／40歳代,女性</li> </ul>
<p>5. 幸せな交流が あるまち (地域コミュニティ・広報戦略・移住定住・行財政運営など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人のあたたかい町がずっと残っていて欲しい／60～64歳,女性</li> <li>・人とのつながりが大切にさせているところ／65～69歳,女性</li> <li>・地域が交流できる場所がある。コミュニティがある。／30歳代,女性</li> <li>・町の広報が町のいろいろな情報が載っているので町のことを知るのに有効。広報は今のままずっと紙が良い。10年後、20年後も。／50歳代,女性</li> <li>・役場の方と住民の身近な距離感。田舎ならではの良さ。／40歳代,男性</li> <li>・各地区住民センターの運営により地区の活性化が図られており今後も住民センターの整備をはじめ積極的な展開を願う。／60～64歳,男性</li> <li>・町民に寄り添う行政職員の姿はあったかさを体現している。／30歳代,男性</li> <li>・町民が役場職員に気軽に相談できる環境／20歳代,女性</li> </ul>

問14 鷹栖町のまち（まちづくり）について不安や心配に感じること（自由記入）

鷹栖町のまち（まちづくり）について不安や心配に感じていることについて自由に記入してもらったところ、主な意見は次のようであった。

基本目標	主な意見
<p>1. 人が輝くまち （教育・運動・文化・郷土など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小学校（鷹栖小の人数はどうなっていくのか）／30歳代, 女性</li> <li>・ 郷土資料館の老朽化／30歳代, 男性</li> <li>・ 旭川市内に比べると学力が低い／40歳代, 男性</li> <li>・ 学校が通いやすくなるよう一カ所に幼小中を集約、スクールバスの活用／30歳代, 女性</li> <li>・ 図書館の活動の軸が読書推進のままで良いのか。情報の集約、発信基地としての展開が必要では。子どもの学力とその土台になる育ちの格差が広がっていて、それが学校の先生達と保護者のストレスや両者のディスコミュニケーションに繋がっている。「飛騨モデル」における作業療法士のように、両者の間をつなぐ専門家が、鷹栖町でも必要なのでは。／年代不明, 女性</li> </ul>
<p>2. 幸せな暮らしを実現するまち （子育て・福祉・健康づくりなど）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 現在、高齢化が進んでいるので、認知症の人が多くなると思うが、その人たちへの支援。／40歳代, 男性</li> <li>・ 障がい者に向けた自動車運転免許取得費助成事業を設けてほしい／20歳代, 男性</li> <li>・ 高齢者ばかりを大事にし過ぎだと思うので、もっと幅広い世帯に目を向けてほしい。／40歳代, 男性</li> <li>・ 今まさに子育て中ですが、子どもが小さい時に預ける場所がありますが、短時間で働きたい、時間の空いているときに働ける環境があれば、うれしいです。職種にもよりますが、選ばない人には地元で急な休みでも融通が利く職があればいいと思います。（かなりわがままですみません）／40歳代, 女性</li> <li>・ 少なくなり続ける子どものために教育に関わる費用を町で支援するべきでは、ほとんどの子が町外の高校や大学に行くのに便の悪いバスや親の送迎で成り立っている、毎月上限決めて交通費支援できないのですか、老人にばかりパス券のようなものを配ったり支援するのは違う／40歳代, 女性</li> <li>・ 少子化もあり保育園統廃合が行われるが、子供の人数が多いからと入園申請をしても断られるのはどうかと思う。入園できないと働けないから困る。今後もそうなるなら出産しない人が増えるのではないか。／30歳代, 女性</li> <li>・ 町立病院がない。介護が必要になったとき、訪問診療や訪問看護や介護が受けれるのか？病院への通院はどうするか？病院が遠い。／30歳代, 女性</li> </ul>
<p>3. 幸せなしごとをつくるまち （農業・商工業・観光など）</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観光に着目して道の駅をつくるべき。はびねすにお風呂はあるしキャンプ場もある、名産品もある。鷹栖牛のソフトクリームなど町外から来た人は買ってくれはず。たくさん名産品があるのにもったいない。／18～19歳, 女性</li> <li>・ 働く場所がどれくらいあるか（選択肢の幅）／30歳代, 女性</li> <li>・ 新しい産業への確立、若い人の起業への支援、挑戦しやすいまちづくり、学校でのアントレプレナー教育、地域おこし協力隊のさらなる活用（起業型、提案型）／30歳代, 男性</li> <li>・ 人口減少、働き手の減少による町の活力がなくなることが不安。／20歳代, 男性</li> </ul>

<p>4. 幸せな環境を 持続するまち (都市機能・防災・イン フラ・自然環境など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・交通、買い物／50 歳代, 女性</li> <li>・バスがない／40 歳代, 女性</li> <li>・交通の便がますます悪くなり、若者・高齢者が外出しにくく住み続けることが難しくなる。旭川と鷹栖をつなぐ交通手段がもっとあれば良い。／50 歳代, 女性</li> <li>・交通の便が悪いと若者や高齢者が町外へ移住する。自動運転バスを作って欲しい。／50 歳代, 女性</li> <li>・交通の便が悪い／70～74 歳, 男性</li> <li>・今現在でもバスを利用したいことは度々ありますが、運行時間がどんどん減っているため誰かに車を出してもらったりタクシーをお願いしたり不便を感じることもある為、この先の心配でもあります。／50 歳代, 女性</li> <li>・公共交通の便が良くないところに不安を感じる。生活圏が旭川市に近接している利便性を生かすためにも、自家用車以外の交通手段の充実が必要。道北バスの便数減は高校生の生活に影を落としていると聞いている。これでは、ふるさとに誇りを感じるどころか、通学に不満を感じながら高校生活を過ごし、社会に出ていくのではないか。そんな子どもたちがUターンしてくれるのだろうか。民間事業者の対応が難しければ、町営バスを充実させる等のテコ入れを急がないと、悪い印象ばかりが募る一方である。／40 歳代, 男性</li> <li>・ごく近い将来、車の運転をやめた時に通院や買い物が不便になる事がとても不安です。近くにスーパーが欲しいです。／50 歳代, 女性</li> <li>・スーパーやスタンド等、生活に不可欠と感じる店が無くなること／30 歳代, 男性</li> <li>・今住んでいるところが、造成地で住宅地なので住民が高齢化し空き地が多くなり、問題が増えるのではという不安がある。／50 歳代, 女性</li> <li>・2～3年くらい前までありがたいくらいに冬の除雪がばっちりだった。ここ最近道路の除雪がイマイチだと感じる。現在は体も動くので良いが、10年20年後のそういった面の生活に関するサービスの不安がある。／40 歳代, 男性</li> <li>・若い人の定住も大切ですがこれからは一人暮らしの高齢者が増えてくると思います、持ち家に一人暮らし、不幸な終わりにならぬよう高齢者住宅の充実を願います。／60～64 歳, 女性</li> <li>・ごみの分別複雑なので改善してください、防災無線の内容改善してほしい／50 歳代, 男性</li> <li>・街灯／65～69 歳, 男性</li> <li>・通学路にガードレールがもっと欲しい／30 歳代, 女性</li> <li>・都市ガスを開通して欲しい。佐川急便の再配達で時間指定ができるようにして欲しい／20 歳代, 女性</li> <li>・10 線道路の活性化。華やかに。／60～64 歳, 男性</li> </ul>
<p>5. 幸せな交流が あるまち (地域コミュニティ・広 報戦略・移住定住・行 財政運営など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旭川のベッドタウン的なポジションで耐え忍んでいる印象、さらなる移住者への受け入れ（特に子育て世代）を推し進めてほしい。住居の整備（空き家の有効活用、空き家を町営住宅に、サブリースなど）、多子世帯への支援（出生祝い金、小中高大入学時の祝い金など、各世帯子どもの人数に合わせた加算）／30 歳代, 男性</li> <li>・町外に出た若者が町に戻ってきたときに今より高齢化が進んでい</li> </ul>

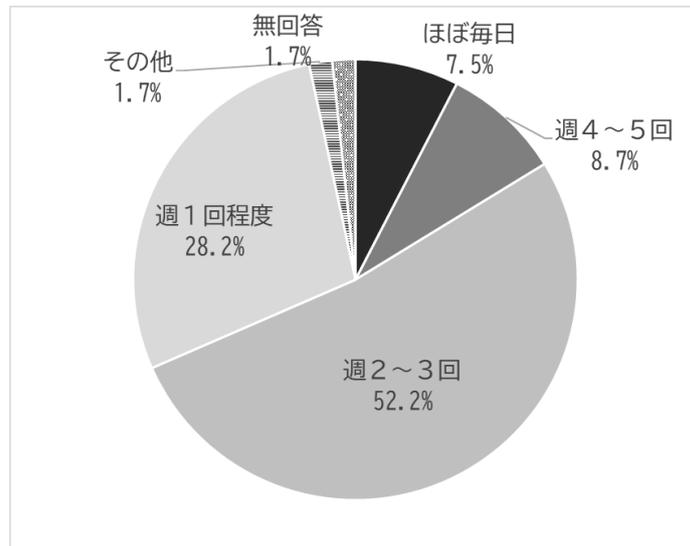
	<p>て心配／20 歳代, 男性</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・人口減少に伴う行政サービスの低下や公共施設の削減など／60～64 歳, 男性</li> <li>・これまで広報に挟まっていたチラシがなくなり、町で何が行われているのか情報を知る機会が減った。小さな字も見えずらくなるし、高齢の方にはマイナスだと感じる。／50 歳代, 女性</li> <li>・高齢化とともに今以上に空き家の増加が懸念されます。出来る限りそこに若い人が居住しバランスのとれた地域づくりのため現補助制度の拡充を望みます。／65～69 歳, 男性</li> <li>・IT 化を積極的に進め、IT 企業が参入しやすい町と図やマップを多様して町民に分かりやすい広報を進めて頂きたい。／50 歳代, 男性</li> <li>・道の駅やカフェのような人が集まるところが少ないこと／50 歳代, 女性</li> <li>・若者が住みやすい街にして欲しいです。東川のような魅力な街になって欲しいです。周りの自然などを活かして移住したい街になればと思っています。 ／30 歳代, 男性</li> <li>・4 地区がかなり離れているので、難しいとは思いますがコンパクトシティを目指してほしい／40 歳代, 男性</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今、東川町が注目されていますが、私達がこの鷹栖に引越したときは本当に友人、家族、色々な人にうらやましがれた。自然がいっぱいで鷹栖というネーミングも格好よく憧れです。10 年、20 年、子どもも鷹栖から離れ、やっと夫婦でこの鷹栖、この地域を知ると、全く魅力がなく、あ～だから人口増えないんだなと思います。いくら一時しのぎの桜とかお祭りとか、あきますね。もう少し気合を入れ、自分ではなくこれからの子どもたちが頑張れる鷹栖にしてください。あまりにも役場退職者ばかりが色々な役に付きすぎでは、議員も。鷹栖地元の大柄が強すぎ、自分は誰の親類とか誰と仲良くしている等、子どもに恥ずかしい、今時どの友人と会っても鷹栖みたいな話聞いたことないといわれる、もう少し大きな心と大きな声と大きな意欲をもってこの町を良くしてほしい。 ／70～74 歳, 男性</li> <li>・鷹栖町で家を建てようか相談された時、やめた方が良いと答えています。市内より寒いし雪が多い。買い物不便すぎる。交通が不便なので学生は大変。クルマでどこに行くのも遠いなど、、なので少し土地が高くても資産価値が残りそうな市内を勧めています。このあたりの不便さを我慢してもらうには、1. せめてツルハに来てもらう。2. 学生のバス補助金。3. クルマ購入の補助、土地の無償提供、融雪機の無料設置。4. お年寄りの雇用促進。くらいやってくれたら我慢しても良いかなくらいの土地だと思う。あと鷹栖の町長や議員は外部の血を入れるくらいじゃないと変わらないと思う。／40 歳代, 男性</li> </ul>

### 3 普段の買い物について

#### 問15 普段、買い物に出かける回数

普段、買い物に出かける回数については「週2～3回」が52.2%と最も高く、次いで「週1回程度」が28.2%、「週4～5回」が8.7%となっている。

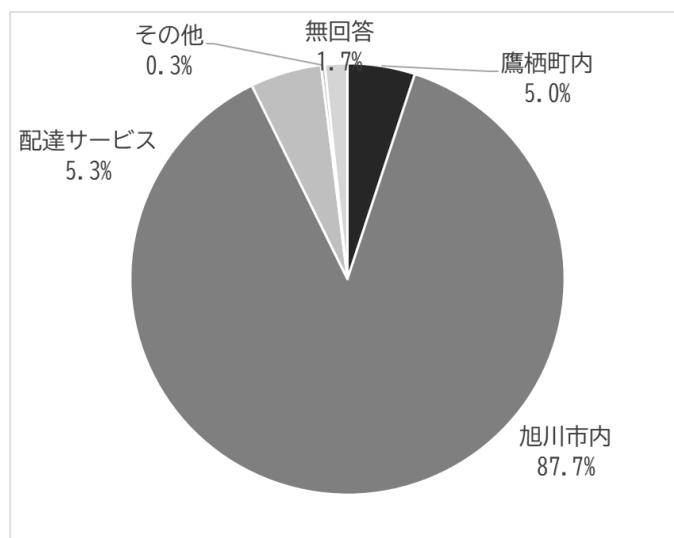
図表Ⅱ-3-1 普段、買い物に出かける回数 (N=358)



#### 問16 普段の買い物（食料品・日用品）で、最も利用する店

普段の買い物（食料品・日用品）で最も利用する店については、「旭川市内のスーパー等を利用している」が87.7%と最も高く、次いで「鷹栖町内のお店を利用している」が5.0%、「配達サービスを利用している」が5.3%となっている。

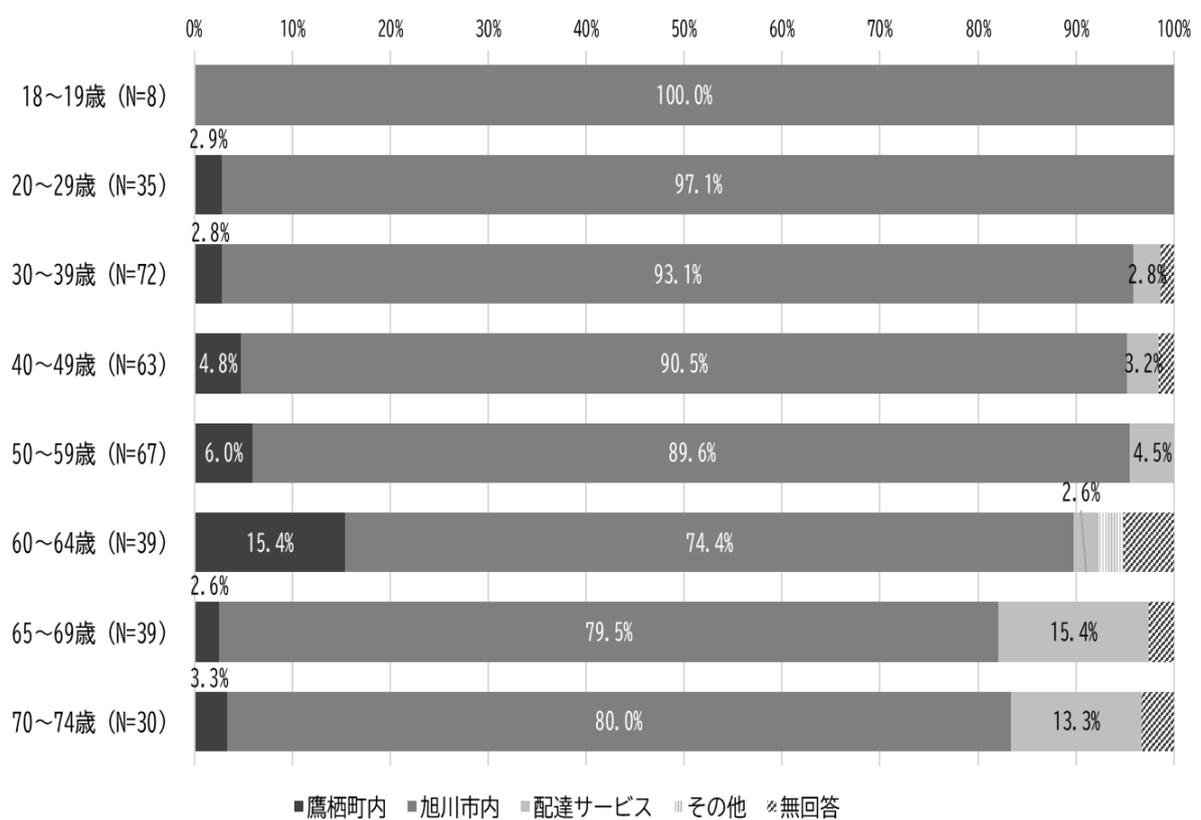
図表Ⅱ-3-2 普段の買い物（食料品・日用品）で、最も利用する店 (N=358)



普段の買い物（食料品・日用品）で最も利用する店について年齢別にみると、すべての年代で旭川市内の割合が高く、40歳代以下は9割を超えている。

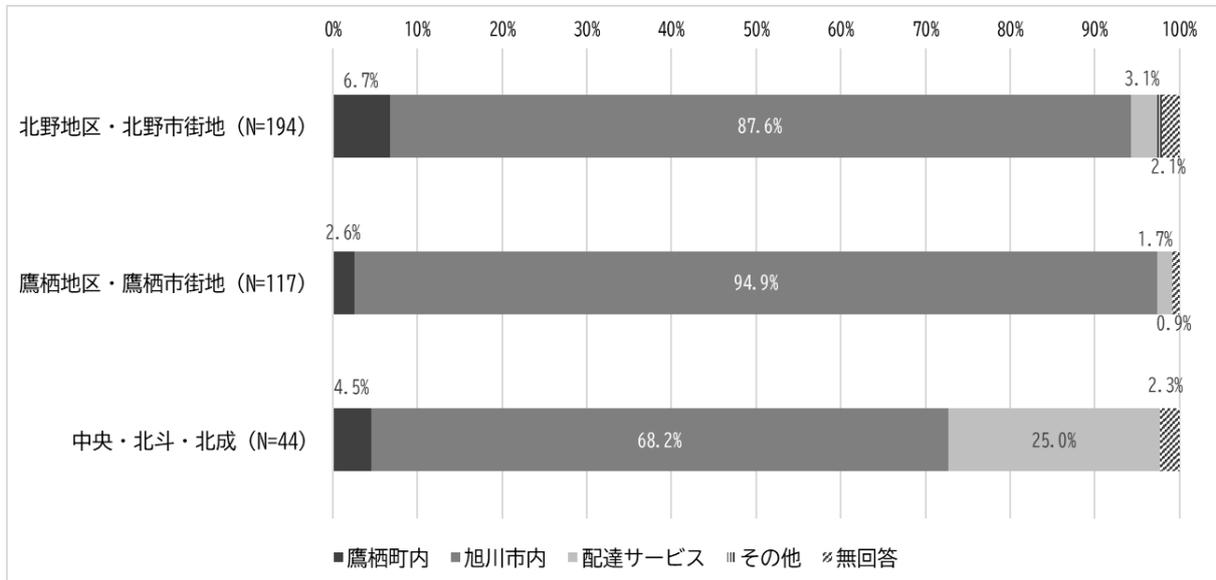
「60～64歳」では鷹栖町のお店が15.4%と割合が高く、「65～69歳」「70～74歳」では配達サービスの利用がそれぞれ15.4%、13.3%と、他の年齢と比べて割合が高くなっている。

図表Ⅱ-3-3 普段の買い物（食料品・日用品）で、最も利用する店（年齢別）



普段の買い物（食料品・日用品）で最も利用する店について居住地区別にみると、「中央、北斗、北成」では「配達サービスを利用している」が25.0%と、他の地区と比べて割合が高くなっている。

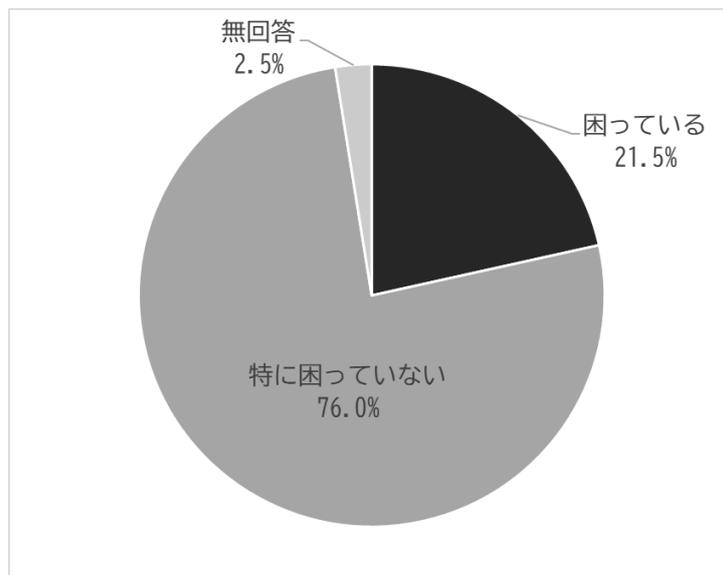
図表Ⅱ-3-4 普段の買い物（食料品・日用品）で、最も利用する店（年齢別）



問17 普段の買い物（食料品・日用品）で、困っていることや不便に感じていること

普段の買い物（食料品・日用品）で、困っていることや不便に感じていることについては、「特に困っていない」が76.0%、「困っている」が21.5%となっている。

図表Ⅱ-3-5 普段の買い物（食料品・日用品）で、困っていることや不便に感じていること (N=358)



「困っている」と回答した人に、困っていることについて具体的に記入してもらったところ、主な意見は、次の通りである。

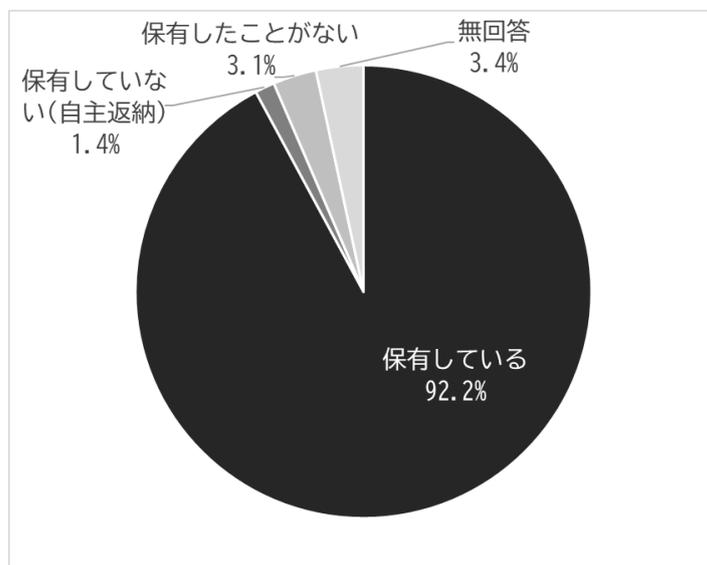
カテゴリ	主な意見
スーパーやドラッグストアなどがない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くにスーパーがない／50歳代,女性</li> <li>・鷹栖地区にドラッグストアがあれば最高／60～64歳,男性</li> <li>・コンビニ、ダマルシェしかない。／40歳代,男性</li> <li>・ツルハ、コメリみたいな店があればよい／40歳代,男性</li> <li>・鷹栖の街にドラッグストアをお願いしたい（ツルハ・サンドラック・サツドラ）／30歳代,女性</li> <li>・北野にあるのに鷹栖地区にスーパーがないこと／18～19歳,女性</li> <li>・自宅の近くにスーパーがなく、車で行かなければならない。なので、車を出すのであればダマルシェよりは品ぞろえのある市内の店に行くことになる。冬は運転するのが苦痛なので、鷹栖地区にスーパーを誘致してほしいと強く要望します。／50歳代,女性</li> <li>・病院が近くにはないのは仕方がないと思っておりますがドラッグストアが近くにないので薬がすぐ買えない／40歳代,女性</li> </ul>
価格が高い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くに旭川のスーパーぐらいの値段のスーパーがあるとより良い、誘致してほしい、ダイゼンとか／20歳代,男性</li> <li>・安くない／20歳代,男性</li> <li>・品数が少ないにも関わらず単価が高く感じる。／30歳代,男性</li> </ul>
品揃えが良くない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・旭川に行かないと生活用品がそろわない／50歳代,女性</li> <li>・鷹栖町にあるスーパーを見ると、品ぞろえがやや少なく感じて不便に感じたことがある。（イオンモールと比べて）／20歳代,男性</li> <li>・今は特に困っていないが、車を運転出来なくなった時に近くに商店では品揃えが少なく不便を感じる。／65～69歳,女性</li> <li>・乳児の日用品を買う場所がなく、品揃えがイマイチ。結局西イオンにいかないと必要なものが買えない。／30歳代,女性</li> <li>・夕方やにマルシェに行くと肉や野菜がないことがある。もう少し増えると嬉しい。／20歳代,男性</li> <li>・学校で使うもの（ノートやえんぴつ）すぐに必要でも旭川まで買いに行かないといけないのが不便。／30歳代,女性</li> </ul>
閉店時間が早い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕事終わりに買い物したくても町内のスーパーは閉まっているので市内のスーパーに行くことになる／20歳代,女性</li> </ul>
買い物に時間がかかる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コンビニに行くにも車が必要なこと／30歳代,女性</li> <li>・車がないと買い物に行けない／40歳代,男性</li> <li>・一つのお店で完結しない／40歳代,男性</li> <li>・子供用の製品を買う場所が無い点。その他の製品も「外出したついでに買う」という生活スタイルを物理的に実践できない。買い物を目的に外出する必要がある点は他の自治体に住むより、無駄な時間が必要になっている。（例：こどもの送り迎えのついでにオムツを買う。等）／30歳代,男性</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今は自由に車を運転し、自分の好きな時間に好きなところへ行って買物ができているので不便さを感じていません。車を手放すような年齢になったときに人口も減り買物する場所も配達してくれるエリアも狭まったときに不便さを感じるかと思います。／40歳代,女性</li> <li>・高齢者は買い物や通院で誰かに頼んで乗せてもらっていたり、ハイヤーで旭川へ行っている。／40歳代,男性</li> <li>・夜のお弁当のテイクアウトが出来るお店があれば便利だと思う。／30歳代,女性</li> </ul>

#### 4 普段の交通手段について

##### 問18 免許の保有

免許の保有率は92.2%と高く、保有していない、保有したことがない人は4.5%程度であった。

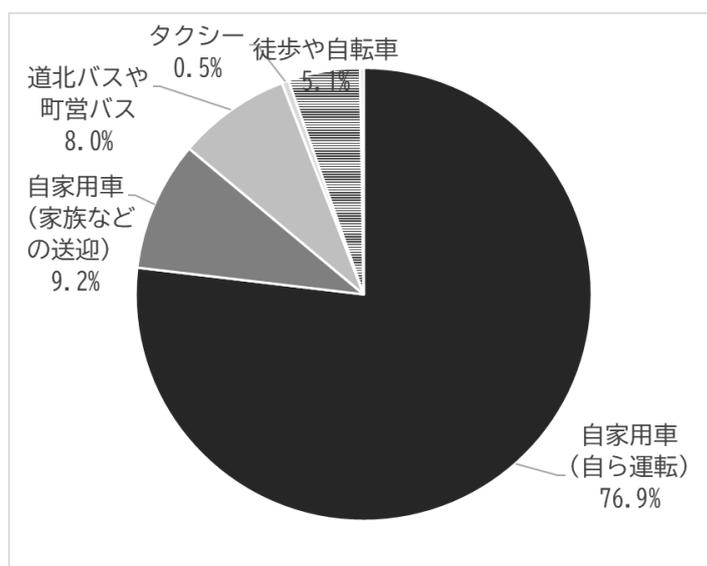
図表Ⅱ-4-1 免許の保有 (N=358)



##### 問19 普段の交通手段

普段の交通手段について聞いたところ、「自家用車（自ら運転）」が76.9%と割合が高く、公共交通（バスやタクシー）は8.5%であった。

図表Ⅱ-4-2 普段の交通手段（複数回答、N=358）

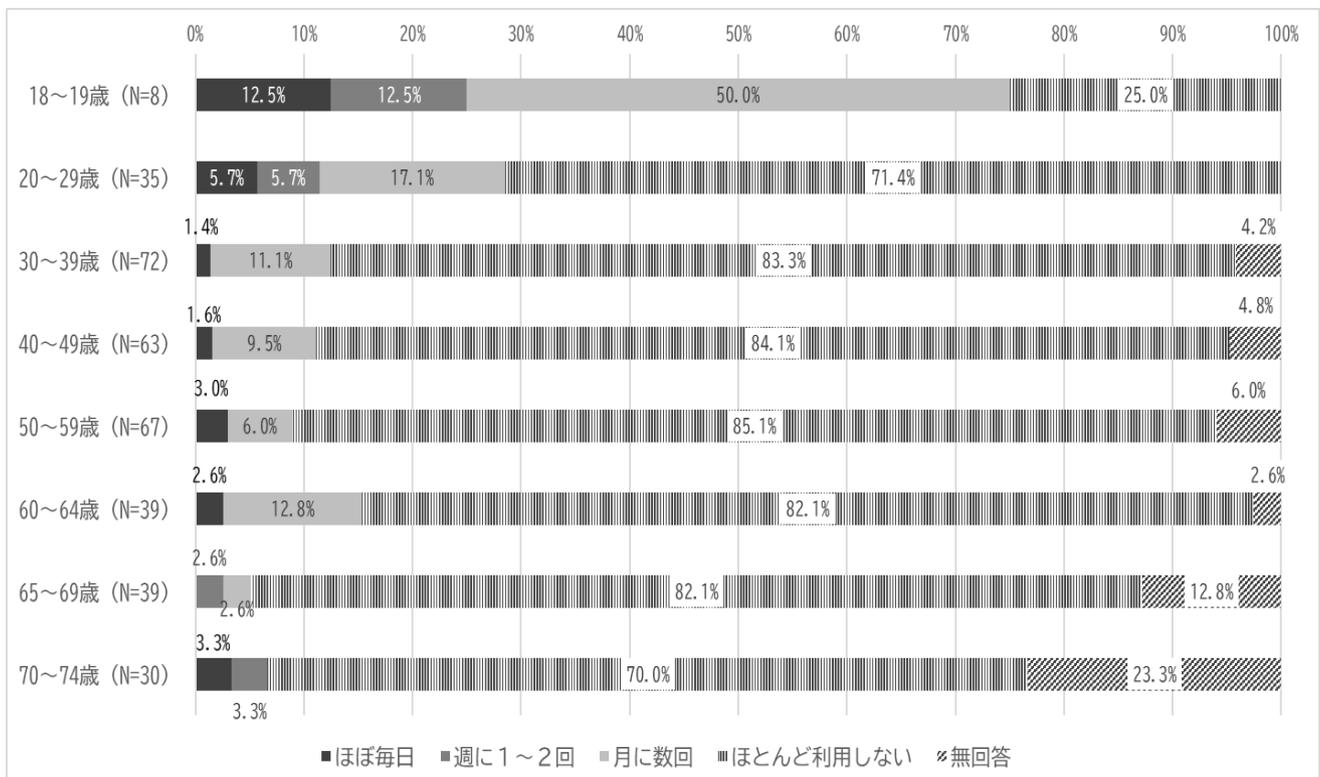
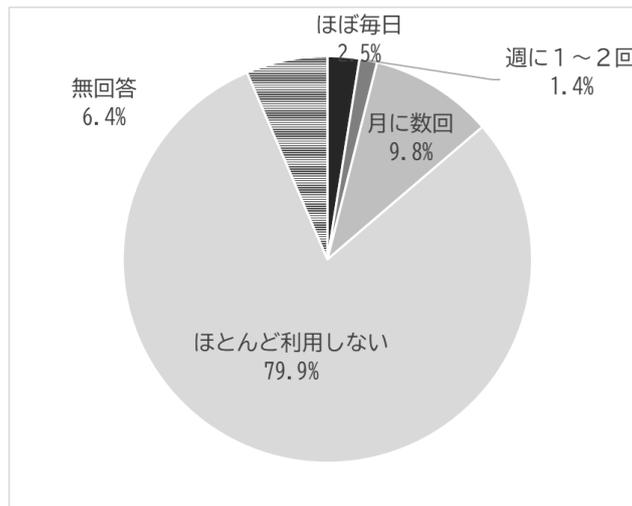


問20 公共交通の利用

【道北バス】

月に数回が9.8%、ほぼ毎日利用する人も2.5%となっている。年代別に見ると、20歳代以下は利用頻度があるが、30歳代～60歳代は8割以上がほとんど利用していない。

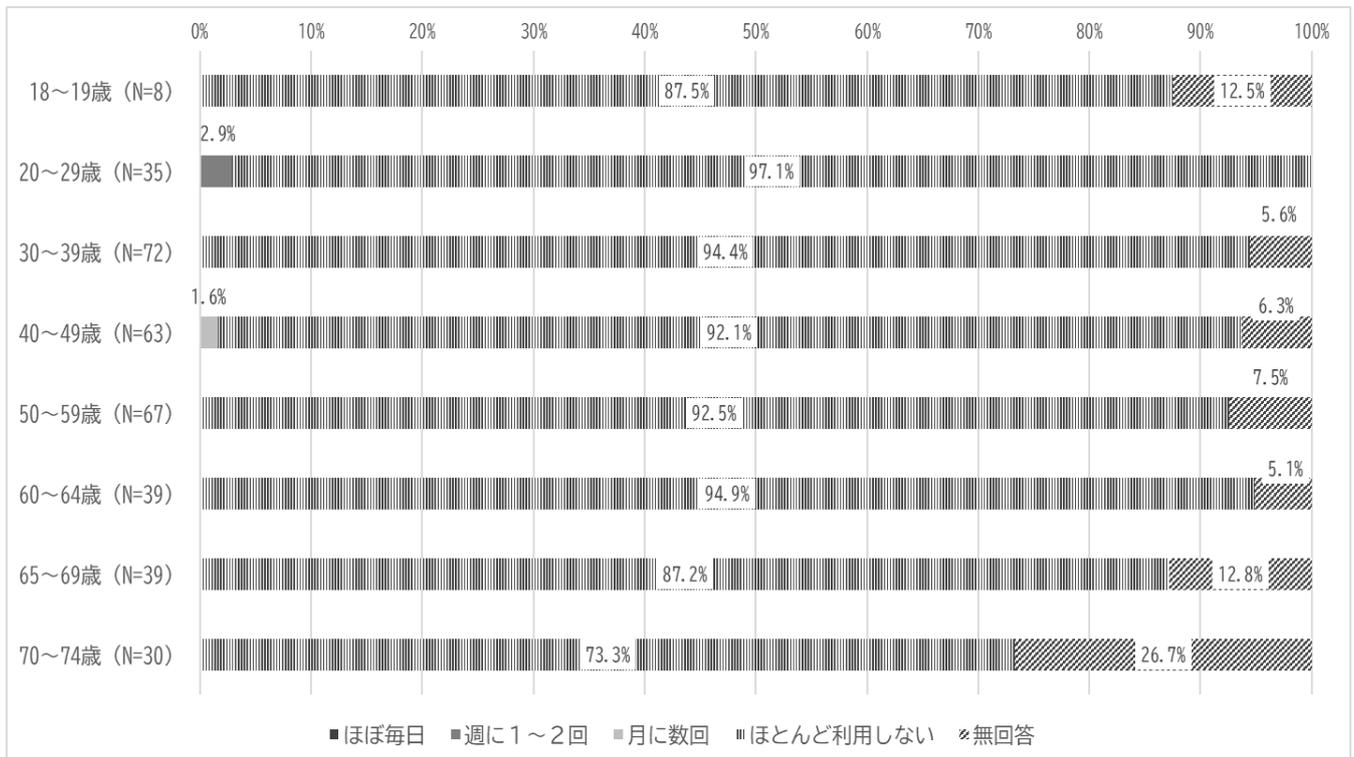
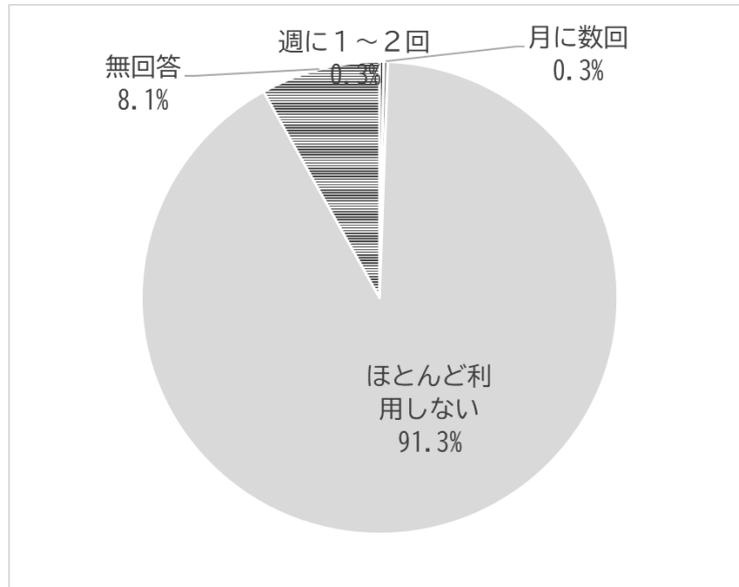
図表Ⅱ-4-3 公共交通の利用【道北バス】(N=358)



【町営バス】

利用しているのは0.6%しかおらず、20歳代、40歳代にわずかにいる程度であった。

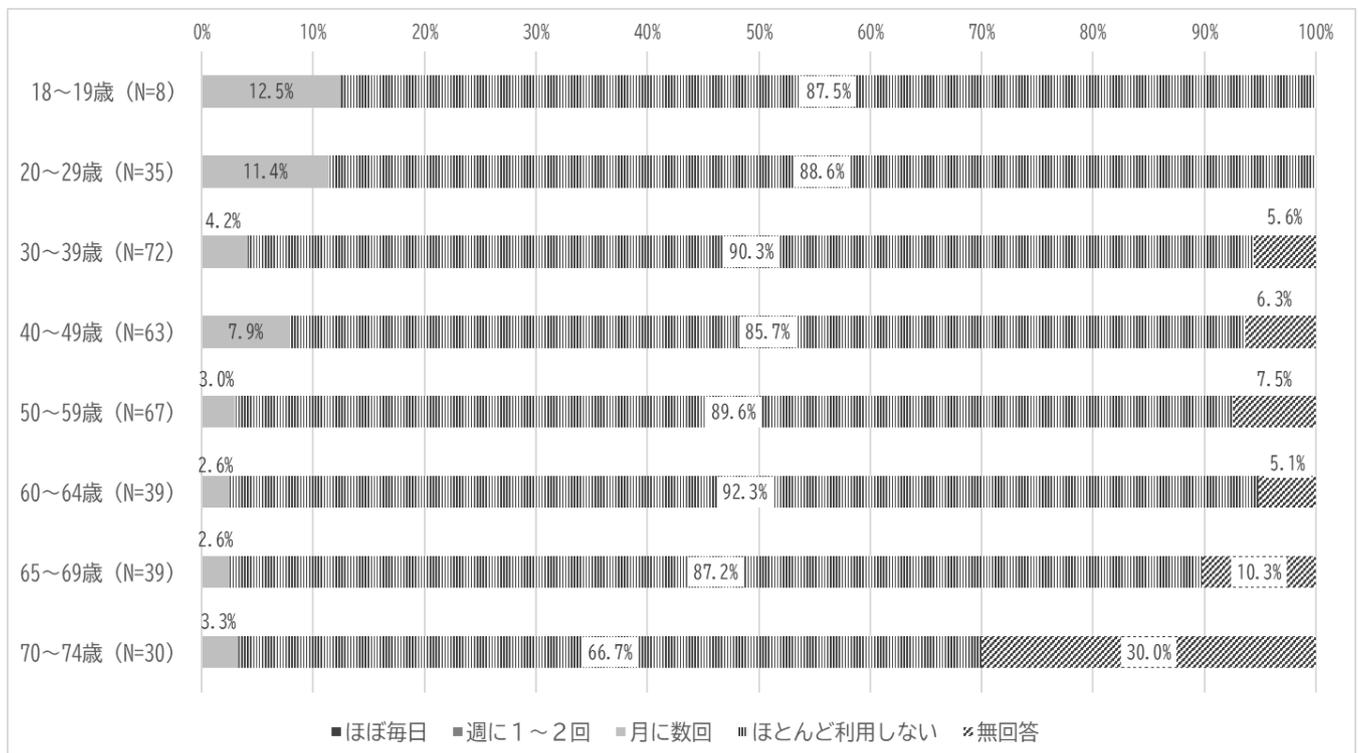
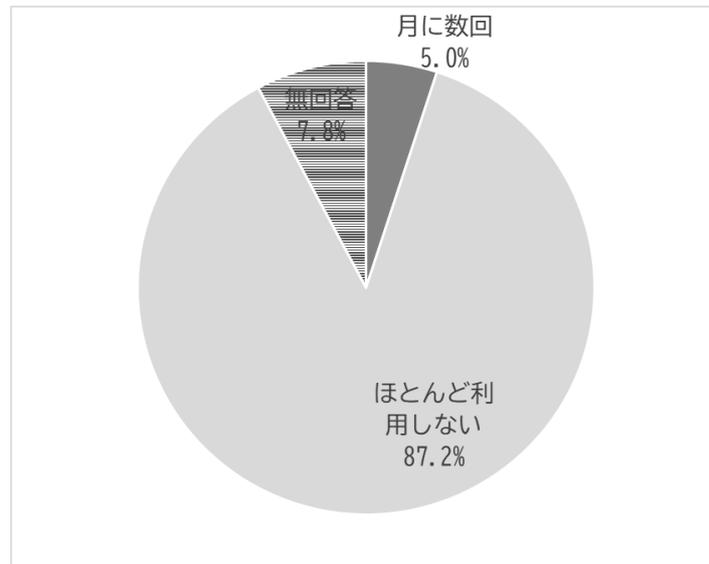
図表Ⅱ-4-4 公共交通の利用【町営バス】(N=358)



【タクシー】

月に数回程度が5.0%であり、20歳代以下で1割を超える割合となっている。

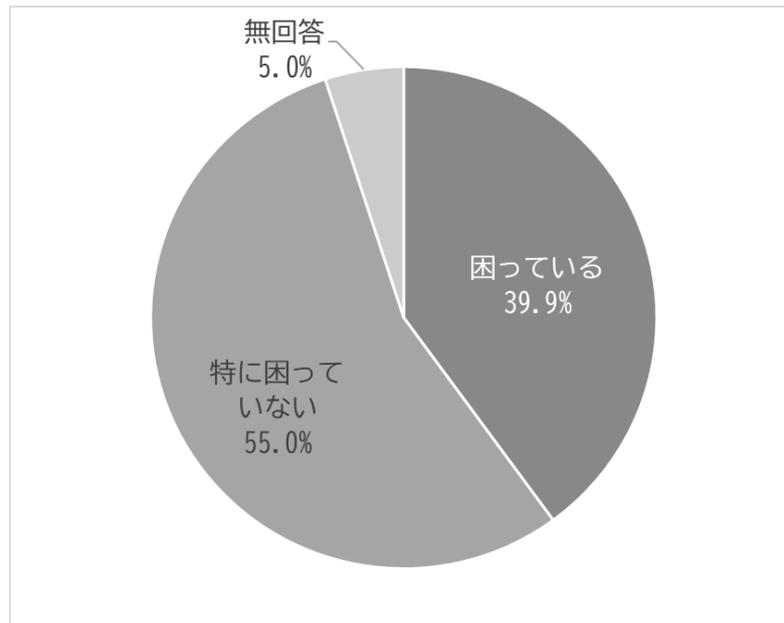
図表Ⅱ-4-5 公共交通の利用【タクシー】(N=358)



## 問2 1 普段の交通手段で、困っていることや不便に感じていること

将来運転ができなくなった場合も含め、将来的な不安を聞いたところ、困っている（困る可能性がある）が39.3%となっている。

図表Ⅱ-4-6 普段の交通手段で、困っていることや不便に感じていること（N=358）



「困っている」と回答した人に、困っていることについて具体的に記入してもらったところ、主な意見は、次の通りである。

カテゴリ	主な意見
バスについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バスの本数が少ない／50歳代, 男性</li> <li>・本数が少ない／30歳代, 女性</li> <li>・バスの数が少なくなっていること／60～64歳, 女性</li> <li>・バスの便が少ない、利用したいときにも時間が合わず利用できないことが多々ある／40歳代, 女性</li> <li>・道北バスの夜間便が少ない／20歳代, 女性</li> <li>・道北バスの時間が鷹栖は少なく料金がかかなり高い。1時間に1本では少なすぎる。／50歳代, 女性</li> <li>・北野から旭川駅（森山病院）に出るバスの本数がやや少ない。特に朝の9時台、10時台がないのが不便／20歳代, 男性</li> <li>・バスの便が少ない。帰りが19時30分がラストはキツイ。／18～19歳, 女性</li> <li>・バスの本数を増やしてほしい。旭川でバイトしても帰れるバスがない。／18～19歳, 男性</li> <li>・バスの最終がはやい／40歳代, 男性</li> <li>・旭川市内行の増便を期待する／50歳代, 男性</li> <li>・今より減る可能性があり不安。／40歳代, 男性</li> <li>・道北バスの本数が少なく高校生の通学に使えない。行ける高校に限られる。／40歳代, 男性</li> <li>・高校生の登下校時刻にあるバスがない／65～69歳, 女性</li> <li>・バス停までが遠い／60～64歳, 女性</li> <li>・駅方面しかバスが出ていない。（永山方面がない）／20歳代, 男性</li> <li>・バスの時間帯が年々減ってるので、人の呼び込みと免許（大型2種免許）を取りにいける制度を追加したらいいのではと思う。／20歳代, 男性</li> <li>・全国的にバス路線維持の問題が上がっていますので、なんとかバス路線を維持していただけたらなと思います。／30歳代, 女性</li> </ul>
将来について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運転できなくなった時、買い物、病院への通院等、気軽に外出ができなくなる。家に閉じこもり、健康的な生活が出来なくなるのではと不安になる。／70～74歳, 女性</li> <li>・免許書を返納したら家からどこにも行けない。閉じこもる将来が不安。／65～69歳, 女性</li> <li>・将来経済的にも困る？と不安に思っている／40歳代, 女性</li> <li>・高齢になったとき、町内限定免許がないと暮らせないこと／65～69歳, 女性</li> <li>・病院（専門分野）の通院、運転できなくなったら困ることがたくさん出てくる。／40歳代, 女性</li> <li>・自分の用事でも家族での外出でも、もし車を運転できなくなったらとても困ります（将来的に）。／30歳代, 女性</li> <li>・運転ができなくなるとどこへも行けない。予約しないと町営バスに乗れなくて、帰りの時間も自由に帰れないと急用の時に困る。／50歳代, 女性</li> <li>・車がないとお店にも行けません、バス停も近くにないので歳を重ねた時に不安です。／30歳代, 女性</li> <li>・運転できなくなった時、鷹栖町のタクシーはすぐ手配できるのか？そんなに台数はないのでは？と思う。かと言って、バスも日曜日や時間によっては運休しているし。大雪の人か、心配になる。／40歳代, 男性</li> </ul>

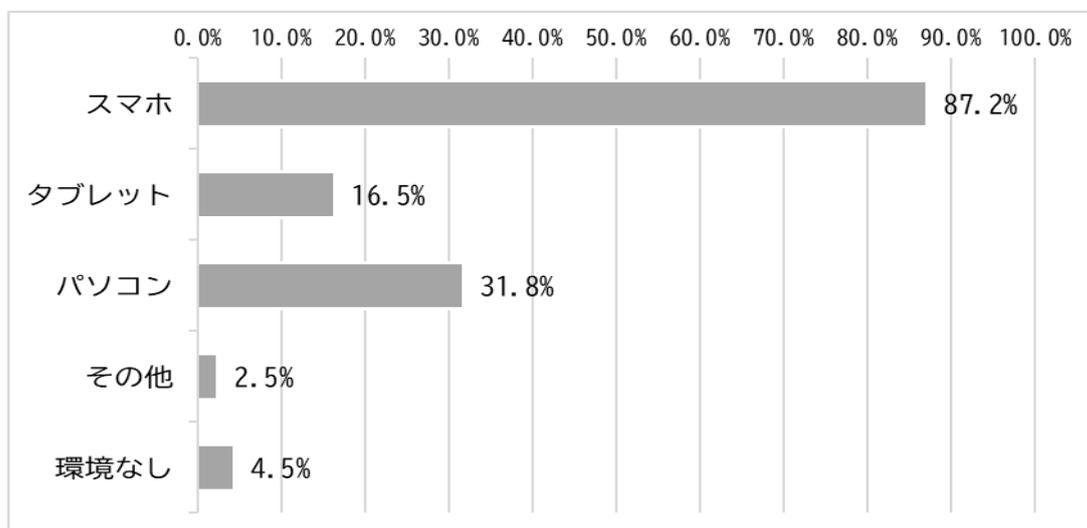
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在は自分の車を運転して移動することができるが、高齢になり自家用車で移動することが出来なかった場合、家の近くを通っているバスがなくタクシーを利用すると高額という不安がある。／50歳代,女性</li> <li>・免許返納したときの不安／50歳代,女性</li> <li>・車が使えなくなると地区の役員会や会議なども参加できなくなる。／65～69歳,男性</li> <li>・運転出来なくなったら旭川市に異動する／40歳代,女性</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・タクシーを頼んだ時間より早く来る／65～69歳,男性</li> <li>・町内のみどりハイヤーは夜やっていないので、旭川市内のタクシーを呼ぶざるを得なかった。／50歳代,男性</li> <li>・近くにバス停もなく目的地から自宅の交通手段はほぼタクシーのみで料金が高騰。町営バスでは時間・行動範囲に制限があり気軽に利用しようとは思えない。／40歳代,女性</li> <li>・タクシーを利用するまでもない1キロ以内の移動と冬道の歩行が不安／65～69歳,女性</li> <li>・郊外に住んでいると車がないと不便。町営住宅に住まないと生活できなくなる。／65～69歳,女性</li> <li>・旭川の病院に行くとき（夜）、救急車を呼ぶまでもない時などタクシーを旭川から呼ばないと行けず困る。／70～74歳,女性</li> <li>・身体の不自由な方が気軽に利用出来る交通機関整備を目指して頂きたい、／50歳代,男性</li> <li>・自動運転バスを導入してほしい。／60～64歳,男性</li> <li>・車を手放したら生活できませんので、西イオンまででもいいので、巡回バスを走らせて欲しいです／9,女性</li> <li>・バスの本数を増やしたり、福祉タクシーを簡単に利用できるようにしてほしい。／40歳代,男性</li> <li>・高齢になり免許返納すると、この場所に住むことを根本的に考え直さなければいけません。町で、自動運転のバスやカーシェアなどを試験的にでも導入して、将来的に市街地以外でも住みやすいように対策をしてもらいたいです。／65～69歳,男性</li> </ul>

## 5 デジタル社会や情報端末について

### 問2 2 民間サービスにおける情報端末利用

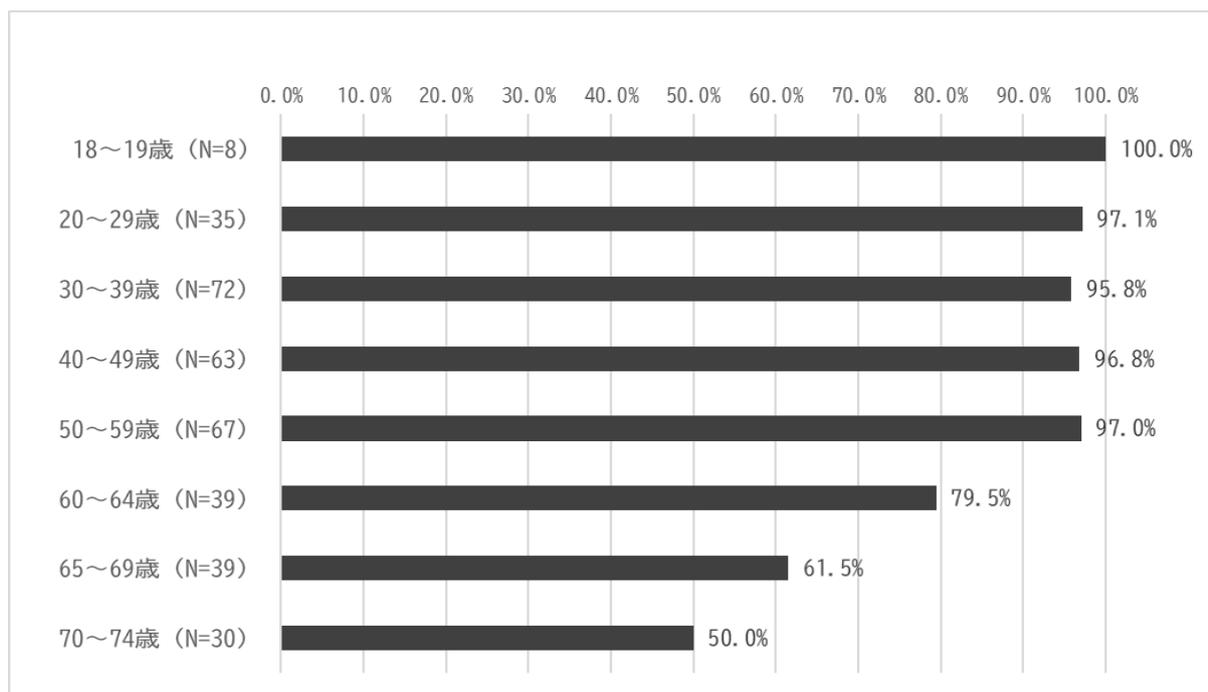
買い物や旅行の予約など、民間サービスの利用時における情報端末の利用状況を聞いたところ、スマホが87.2%と非常に高い割合であった。

図表Ⅱ-5-1 民間サービスにおける情報端末の利用（複数回答、N=358）



設問から年代別のスマホ所有率を割り出したところ、50歳代までは9割以上が保有しており、60歳代以上でも5割は保有している結果となった。

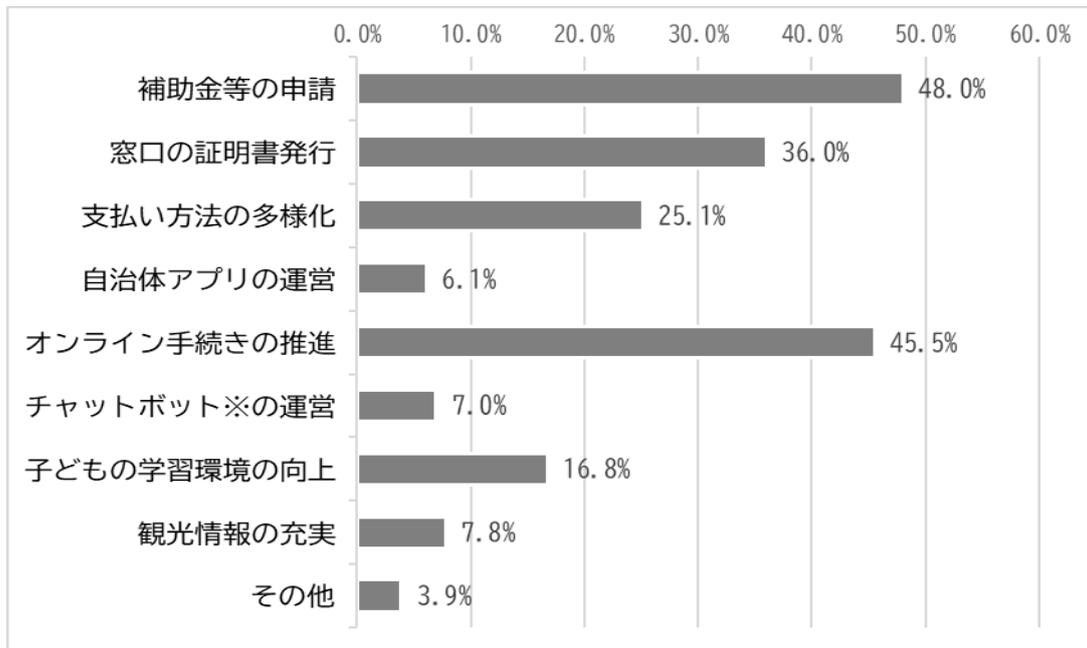
図表Ⅱ-5-2 スマホ所有率



### 問2 3 便利になったら良い役場のサービス

「オンライン手続きの推進」が45.5%、「補助金の申請」が48.0%と高い割合を示している。

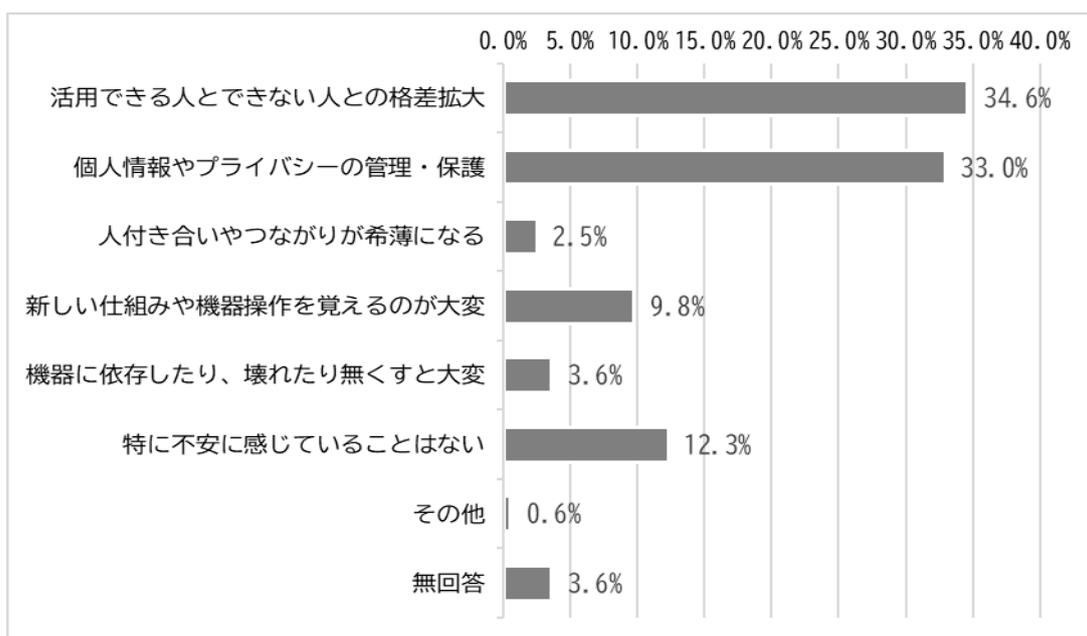
図表Ⅱ-5-3 便利になったら良い役場のサービス（複数回答、N=358）



### 問2 4 デジタル社会の進展による不安

「活用できる人とできない人との格差拡大」が34.6%、「個人情報やプライバシーの管理・保護」が33.0%と高い割合を示している。

図表Ⅱ-5-4 デジタル社会の進展による不安（複数回答、N=358）



## 6 まちづくり活動への関わりについて

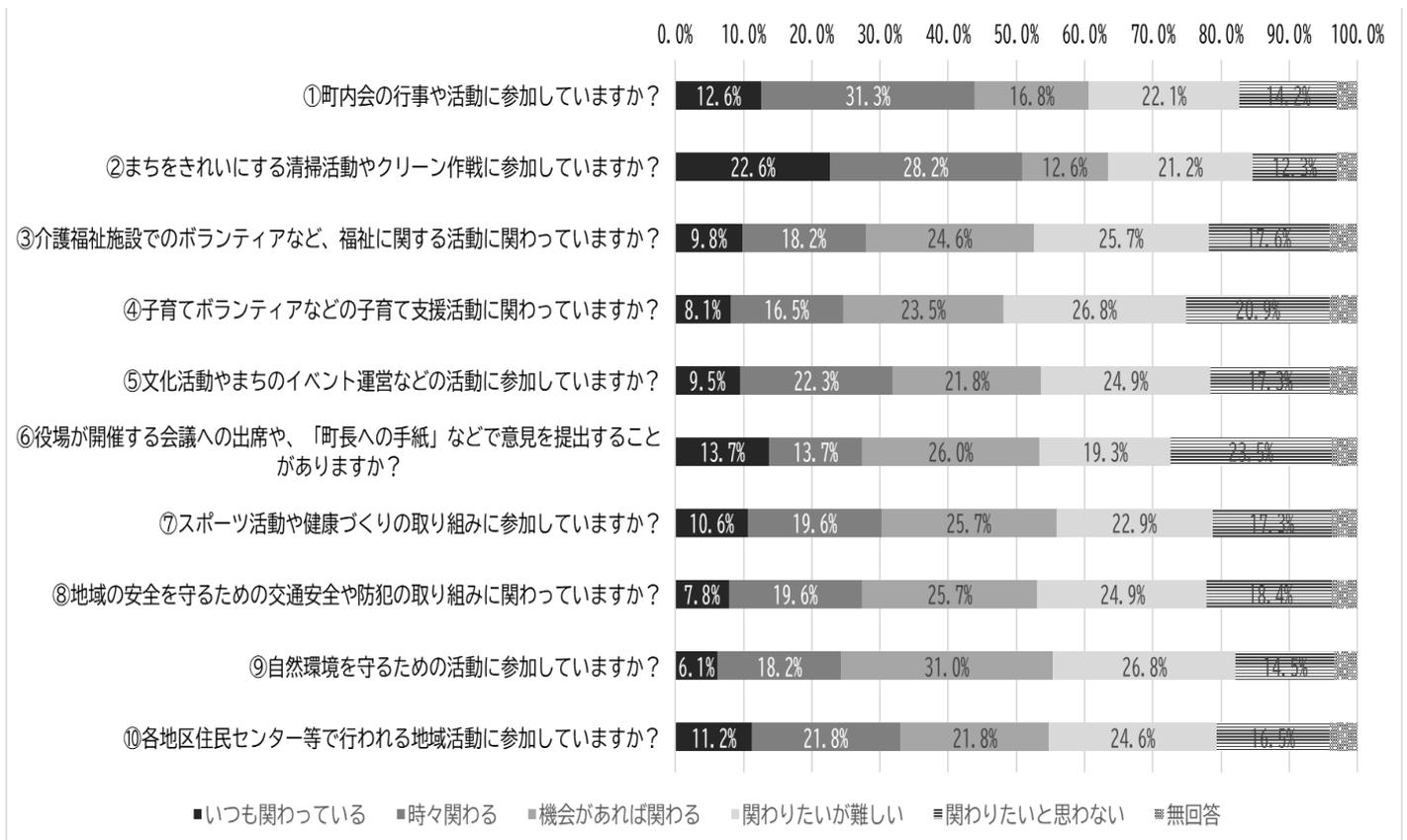
### 問25 現在の住民活動への関わり方

現在の住民活動への関わり方について「いつも関わっている」「時々関わっている」の割合が高いのは「町内会の行事や活動」、「まちをきれいにする清掃活動やクリーン作戦であった。

「関わりたいが難しい」の割合が高いのは、ほとんどの項目において20～25%程度となっている。

「関わりたいとは思わない」の割合が高かったのは「役場が開催する会議に出席や町長への手紙」などで意見を提出すること(23.5%)であった。

図表Ⅱ-6-1 現在の住民活動への関わり方 (N=358)



## 7 あなたにとっての「豊かさ」について

### 問26 あなたにとって「豊かさ」とは

あなたにとって、「豊かさ」とは何かをたずねたところ、「心も体も健康な状態」が71.2%と最も高く、次いで「円満な家庭、家族の幸せ」が36.6%、「衣食住が充実していること」が34.1%となっている。

図表Ⅱ-6-1 あなたにとって「豊かさ」とは（複数回答、N=358）

